FUJICLEAN PLANT

中・大規模浄化槽

産業廃水処理ユニット

美しい水を守る

フジクリーン工業株式会社

設計からメンテナンスまで、合理的なシステムで信頼性の高い製品をお届けします

フジクリーンは、より信頼性の高い製品をお届けするために、設計から製品製作・施工・メンテナンスまで、より合理的なシステムを整備し、**ISO9001** にも審査登録。各分野の専門スタッフ・技術者のチームワークで、高品質で高性能な水処理システムの開発・提供を行っています。

JSA QMS JIS Q 9001, ISO 9001 JSAQ 1109
MS JAB CM001

BASIC PROCESS

基本提案	排水処理システムの提案にあたって徹底的な調査と分析を実施し、基本プランを作成します。
設計インプット 積算・仕様決定	あらゆる設計条件をコンピュータにインプット。CADシステムによって、迅速で正確で信頼性の高い「排水処理システム」を決定します。
受注	排水処理システムのプランが完成した後、受注契約を結びます。
製品製作	CADシステムにより作成された精密な図面をもとに、CAMシステムを活用することで高品質、高性能を実現します。
施工	フジクリーンの特許工法「柱付管体」で工期を大幅に短縮、各種装置の機能を細部までチェックし、試運転を実施します。
メンテナンス	水質保全に不可欠な定期検査や、あらゆる問題に対処。全国ネットサービス体制を活かし、専門スタッフを派遣しています。

製品ラインアップ

中・大規模浄化槽

略型式		処理方式	特記	管体形状	処理対象人員（人）	汚水量（m³／日）	BOD（mg／ℓ）	COD（mg／ℓ）	SS（mg／ℓ）	T-N（mg／ℓ）	T-P（mg／ℓ）	ページ数
PCN		嫌気ろ床担体流動循環ろ過方式	汎用コンパクトタイプ	Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	51～180	2.55～36	15	25	10	20	-	P.4
PC		担体流動・濾過方式（流量調整槽）	超コンパクトタイプ	Ⅰ・Ⅱ	51～500	10.2～100	20	(30)	(50)	-	-	P.6
CRX-G		流量調整型嫌気濾床・担体流動生物濾過循環方式にリン除去装置を加えた方式	し尿系対応 窒素リン除去高度処理型	Ⅲ	5～90	1～18	10	(20)	10	10	1	P.8
PM		凝集剤添加型 膜分離活性汚泥方式	し尿系対応 窒素リン除去高度処理型	Ⅰ・Ⅱ	51～4,000	10.2～200	5	10	5	10	0.5	P.9
PMJ		膜分離活性汚泥方式	BOD除去高度処理型	Ⅰ・Ⅱ	51～7,200	5.1～360	10	15	5	-	-	P.10
CRN		流量調整型嫌気濾床・担体流動生物濾過循環方式	窒素除去高度処理型	Ⅲ	60～150	12～30	10	-	10	10	-	P.10
CRX		流量調整型嫌気濾床・担体流動生物濾過循環方式にリン除去装置を加えた方式	窒素リン除去高度処理型	Ⅲ	60～150	12～30	10	-	10	10	1	P.11
PT		接触ばっ気方式（沈殿分離槽）	国交省 例示仕様	Ⅰ・Ⅱ	51～500	2.55～38.72	20	(30)	(50)	-	-	P.12
PU		接触ばっ気方式（流量調整槽）	国交省 例示仕様	Ⅰ・Ⅱ	101～500	5.05～112	20	(30)	(50)	-	-	P.12
集落排水	-FM-F	膜分離活性汚泥方式	FRPで膜処理方式採用 コンパクト	Ⅱ	51～700	13.77～189	5	10	5	15	0.5	P.13
集落排水	-S96-F	沈殿分離及び 接触ばっ気を組み合わせた方式	-	Ⅱ	51～400	13.8～108	20	-	50	-	-	P.13

産業廃水処理ユニット

用途	型式	処理方式	放流先	処理能力	BOD（mg／ℓ）	SS（mg／ℓ）	n-Hex（mg／ℓ）	pH	ページ数
人工透析	FJP	連続式中和処理方式	下水道放流（除害施設）	～80床	-	-	-	5を超え9未満	P.16
人工透析	FJR	中和緩衝＋担体流動方式	下水道放流（除害施設）	10～80床	600	600	30	5を超え9未満	P.17
人工透析	FJR-X	中和緩衝＋担体流動方式	河川放流	10～50床	20	50	-	5.8～8.6	P.18
人工透析	FJM-X	中和緩衝＋膜分離活性汚泥方式	河川放流	10～50床	10	10	-	5.8～8.6	P.19
厨房除害	FCR	担体流動方式	下水道放流（除害施設）	10～50m³／日	600	600	30	5を超え9未満	P.20
厨房除害	FKR	担体流動方式	下水道放流（除害施設）	15～150m³／日	600	600	30	5を超え9未満	P.21
洗卵廃水	FGiRS FGoRS	担体流動方式（還元剤添加型）	河川放流	3～12万卵／時	120	-	-	-	P.22
洗卵廃水	FGiRA FGoRA	担体流動方式（還元剤添加型）	河川放流	3～12万卵／時	20	-	-	-	P.22
搾乳廃水	FSR	担体流動方式	河川放流	3m³／日	120	-	-	5.8～8.6	P.23

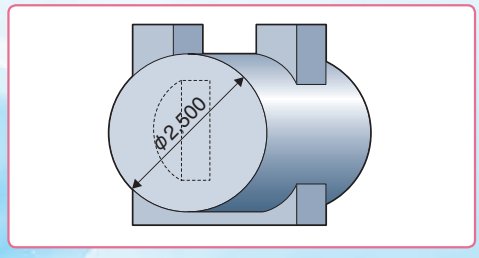
管体形状ラインアップ

施工条件に合わせて、3つの管体形状からベストなプランをご提案します。（FRP評定取得済）

施工性抜群のⅠ型

フジクリーン独自の柱付管体（Ⅰ型）は、柱鉄筋を差し込み上部からコンクリートを流し込むだけで槽本体・スラブ・ベースが完全に一体化し固定することができます。**（標準高さ 2,810H）**

直径 Φ2,500 補強柱付



［乗用車以上の積載荷重の現場］

（施工写真）

メリット

コンパクト：耐荷重施工時でのⅠ型採用は幅が狭く計画でき、省スペース・敷地の有効利用に貢献します。

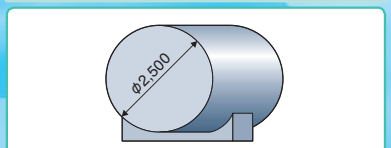
工事費削減：省スペース・施工期間の短縮により土木・山留工事費の削減に貢献します。

施工性：外柱不要はもちろんのこと埋め戻し時に発生しやすい本体のズレを防ぐことができます。

コストパフォーマンスのⅡ型

浮上防止バンドを使用して、ベースにしっかり固定されます。積載荷重がかからない現場では、施工をより簡単にしました。**（標準高さ 2,810H）**

直径 Φ2,500

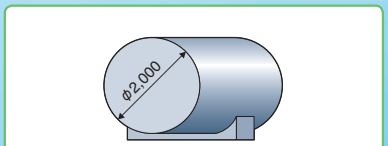


［歩行者荷重の現場］（乗用車以上の積載荷重時は外柱必要）

浅埋め型のⅢ型

施工方法はⅡ型と同様に浅埋めタイプも用意しました。地下水位の高い現場、岩盤等の地盤の現場に最適です。**（標準高さ 2,270H）**

直径 Φ2,000



［地下水位の高い現場　岩盤等の地盤の現場］

フジクリーンプラント

PCN型

処理対象人員：51～180人（2.55～36m³／日）

嫌気ろ床担体流動循環ろ過方式

施工性を向上させ、メンテナンスの簡素化を実現した環境配慮型浄化槽

施工性向上　メンテナンスの簡素化　環境配慮型浄化槽

三位一体でパワーアップ！

レイアウトフリー設計
配管・動力機器を減らしたシンプルな設備

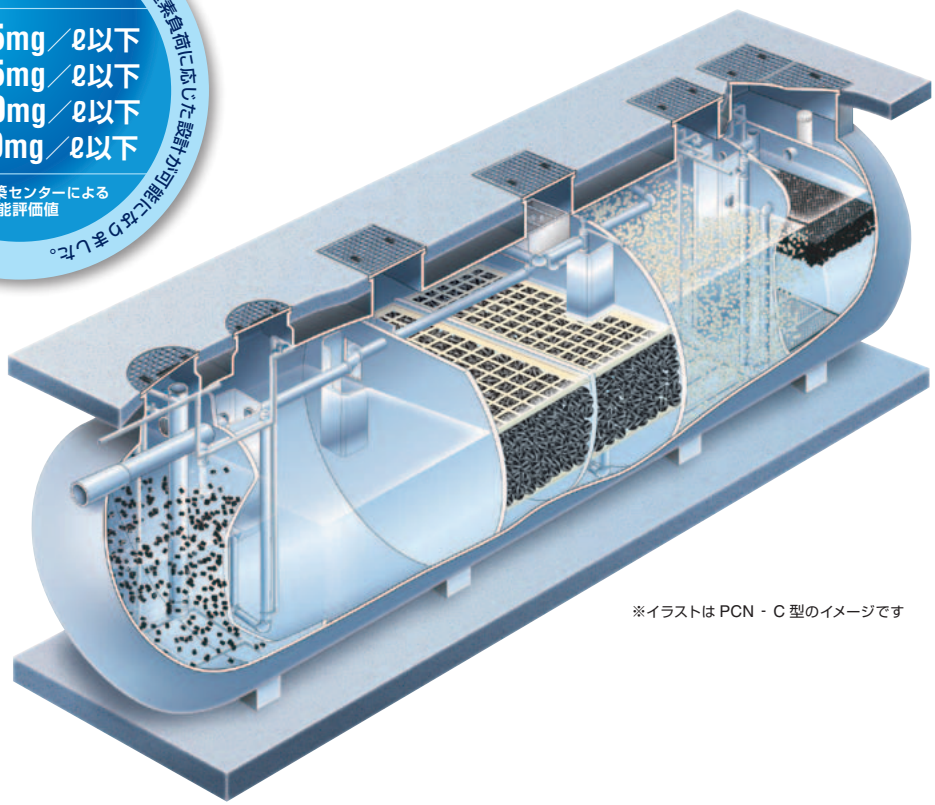
放流水質
性能評価を取得したタイプでは初めて窒素負荷に応じた設計対応能に改良しました。

BOD	15mg／ℓ以下
COD	25mg／ℓ以下
SS	10mg／ℓ以下
T-N	20mg／ℓ以下

㈶日本建築センターによる性能評価値

清掃頻度は
6か月に1回以上

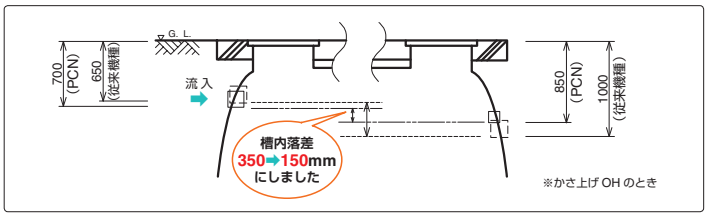
点検頻度は
3か月に1回以上



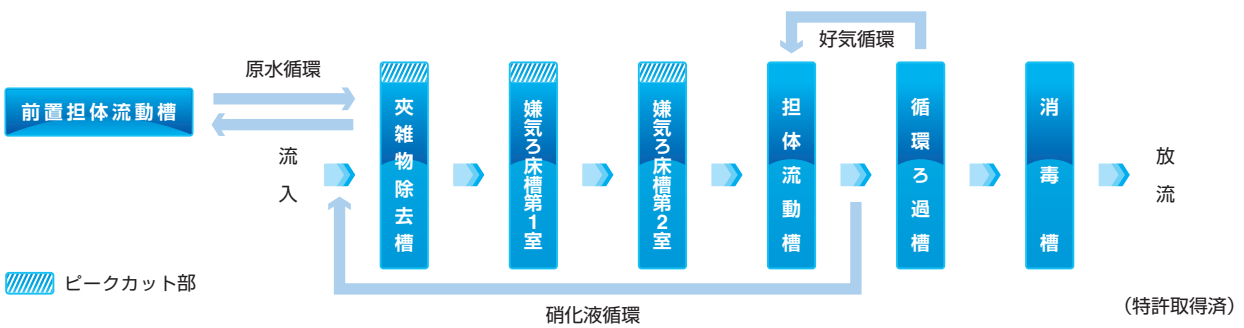
※イラストはPCN－C型のイメージです

レイアウトフリー

- 流入管を従来品より50mm深くし、GL-1000（かさ上げ300H）まで原水ポンプ槽が不要になりました。
- 放流管を従来品より150mm浅くし、自然放流の可能なエリアが拡大しました。



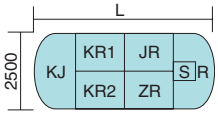
フローシート



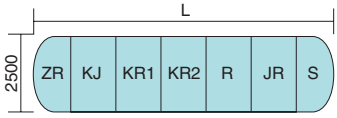
（特許取得済）

■ パターン図

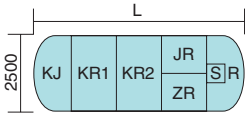
PCN A型



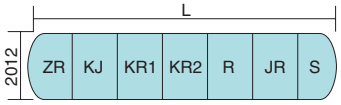
PCN C型

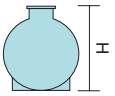


PCN B型



PCN W型





H＝A～C型：2,810　W型：2,270

【記号説明】 **ZR**：前置担体流動槽　**KJ**：夾雑物除去槽　**KR1**：嫌気ろ床槽第１室　**KR2**：嫌気ろ床槽第２室　**R**：担体流動槽　**JR**：循環ろ過槽　**S**：消毒槽

※A～Cパターンは管体形状Ⅰ、Ⅱ型(φ2500)、WパターンはⅢ型(φ2000)

■ PCN型　製品寸法例

❶一般的な住宅系の排水

流入汚水量：200ℓ／人・d　**流入BOD**：200mg／ℓ　**流入T-N**：50mg／ℓ

人槽	型式	寸法L	型式	寸法L	型式	寸法L
51	PCNⅠ-51A	4,050	PCNⅡ-51A	4,050	PCNⅢ-51W	5,960
60	PCNⅠ-60A	4,410	PCNⅡ-60A	4,280	PCNⅢ-60W	6,680
70	PCNⅠ-70B	5,470	PCNⅡ-70B	5,350	PCNⅢ-70W	7,550
80	PCNⅠ-80B	5,850	PCNⅡ-80B	5,730	-	-
90	PCNⅠ-90B	6,470	PCNⅡ-90B	6,300	-	-
100	PCNⅠ-100B	6,950	PCNⅡ-100B	6,710	-	-
110	PCNⅠ-110C	8,140	PCNⅡ-110C	7,960	-	-
120	PCNⅠ-120C	8,720	PCNⅡ-120C	8,460	-	-
130	PCNⅠ-130C	9,220	PCNⅡ-130C	8,960	-	-
140	PCNⅠ-140C	9,730	PCNⅡ-140C	9,470	-	-
150	PCNⅠ-150C	10,220	PCNⅡ-150C	9,970	-	-
160	PCNⅠ-160C	10,730	PCNⅡ-160C	10,520	-	-
170	PCNⅠ-170C	11,410	PCNⅡ-170C	11,170	-	-
180	PCNⅠ-180C	11,920	PCNⅡ-180C	11,670	-	-

❷事務所などトイレ中心の排水

流入汚水量：200ℓ／人・d　**流入BOD**：200mg／ℓ　**流入T-N**：80mg／ℓ

人槽	型式	寸法L	型式	寸法L
51	PCNⅠ-51B	5,540	PCNⅡ-51B	5,440
60	PCNⅠ-60B	6,090	PCNⅡ-60B	5,960
70	PCNⅠ-70C	7,510	PCNⅡ-70C	7,380
80	PCNⅠ-80C	8,190	PCNⅡ-80C	8,060
90	PCNⅠ-90C	8,990	PCNⅡ-90C	8,730
100	PCNⅠ-100C	9,670	PCNⅡ-100C	9,460
110	PCNⅠ-110C	10,460	PCNⅡ-110C	10,290
120	PCNⅠ-120C	11,290	PCNⅡ-120C	11,050
128(130)※	PCNⅠ-128C	11,910	PCNⅡ-130C	11,840

※Ⅰ型は128人槽、Ⅱ型は130人槽

シンプル設備

（従来コンパクト型浄化槽との比較）

空気配管系統

7 ➡ 3系統

電磁弁 3 ➡ 1個

削減　配管工事費の低減

電動力機器

ブロワ 3 ➡ 2台

計量ポンプ 2 ➡ 0台

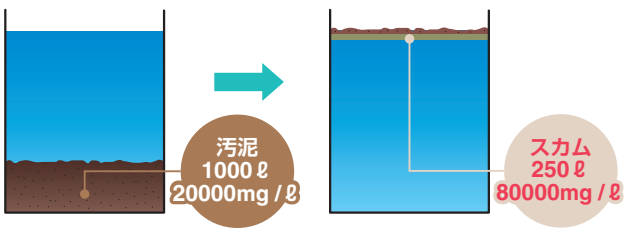
削減　電気工事費の低減
故障のリスクの低減

メンテナンスの簡素化

汚泥の量を少なくする前置担体流動槽を新開発

夾雑物除去槽の水を前置担体流動槽へ送り、ばっ気することにより、汚泥のスカム化が促進されます。汚泥がスカム化することで容量の低減ができ、コンパクトなサイズそのままで、清掃頻度を抑えることができます。

汚泥がスカム化すると体積は **1/4** になります。（当社実験でのデータ）



※汚泥が全量スカム化した場合のイメージ図

フジクリーンプラント PC型

処理対象人員：51～500人（10.2～100m³／日）

浄化槽メーカーとして初めて恒温短期性能評価試験に合格しました。

放流水質

BOD	20 mg／ℓ以下
COD	(30) mg／ℓ以下
SS	(50) mg／ℓ以下
n-Hex	(30) mg／ℓ以下
大腸菌群数	3,000個／cm³以下

財日本建築センターによる性能評価値

担体流動・濾過方式（流量調整槽）

コンパクト化し、敷地を有効活用

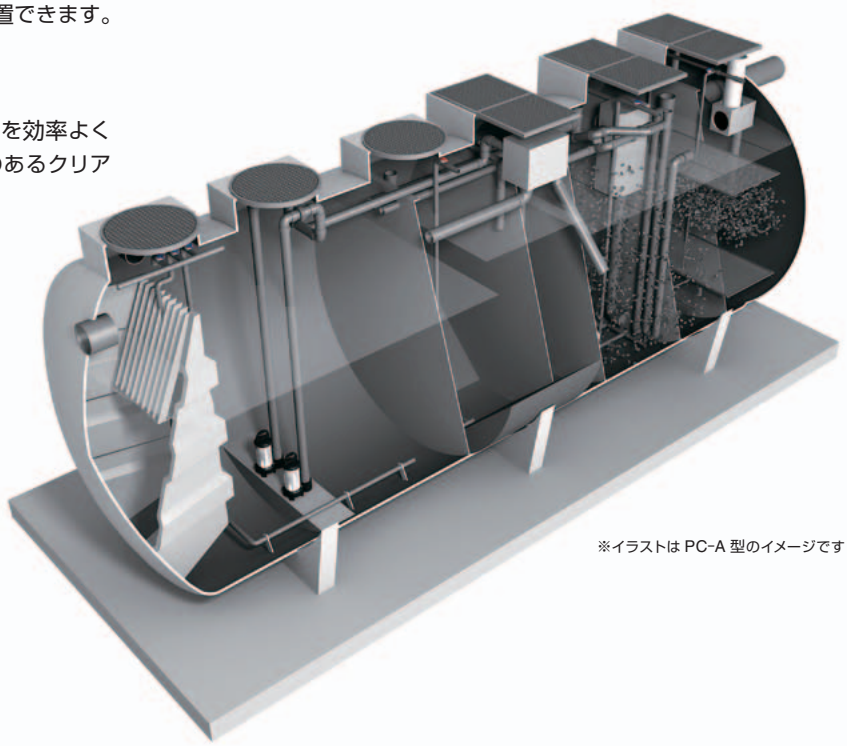
- **担体流動・濾過方式の採用により最大 60%のコンパクト化を実現（例示仕様型 槽長比）**

  担体濾過技術により沈殿槽が不要になり、装置がコンパクトになりました。230 人槽までは、横置槽一本で設置できます。

※ 230 人槽設計条件：46m³／日 × 流入 BOD 200mg／ℓ × 排水時間 12h

- **処理性能がより安定！**

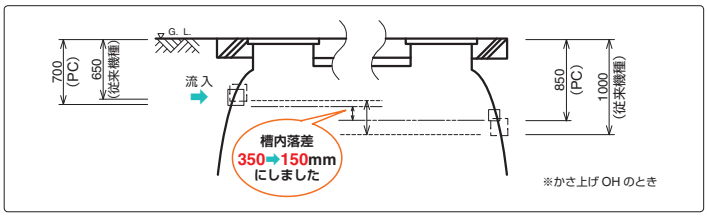
  担体流動槽の前段に夾雑物除去槽を設け、SS 分を効率よく除去します。又、担体濾過技術により、清澄感のあるクリアな処理水が安定して得られます。



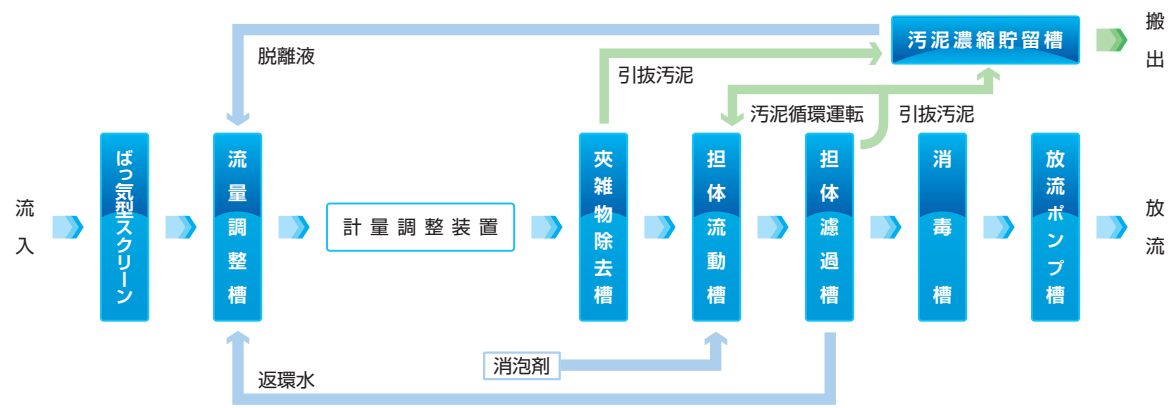
※イラストは PC-A 型のイメージです

レイアウトフリー

- 流入管を従来品より 50mm 深くし、GL-1000（かさ上げ 300H）まで原水ポンプ槽が不要になりました。
- 放流管を従来品より 150mm 浅くし、自然放流の可能な エリアが拡大しました。

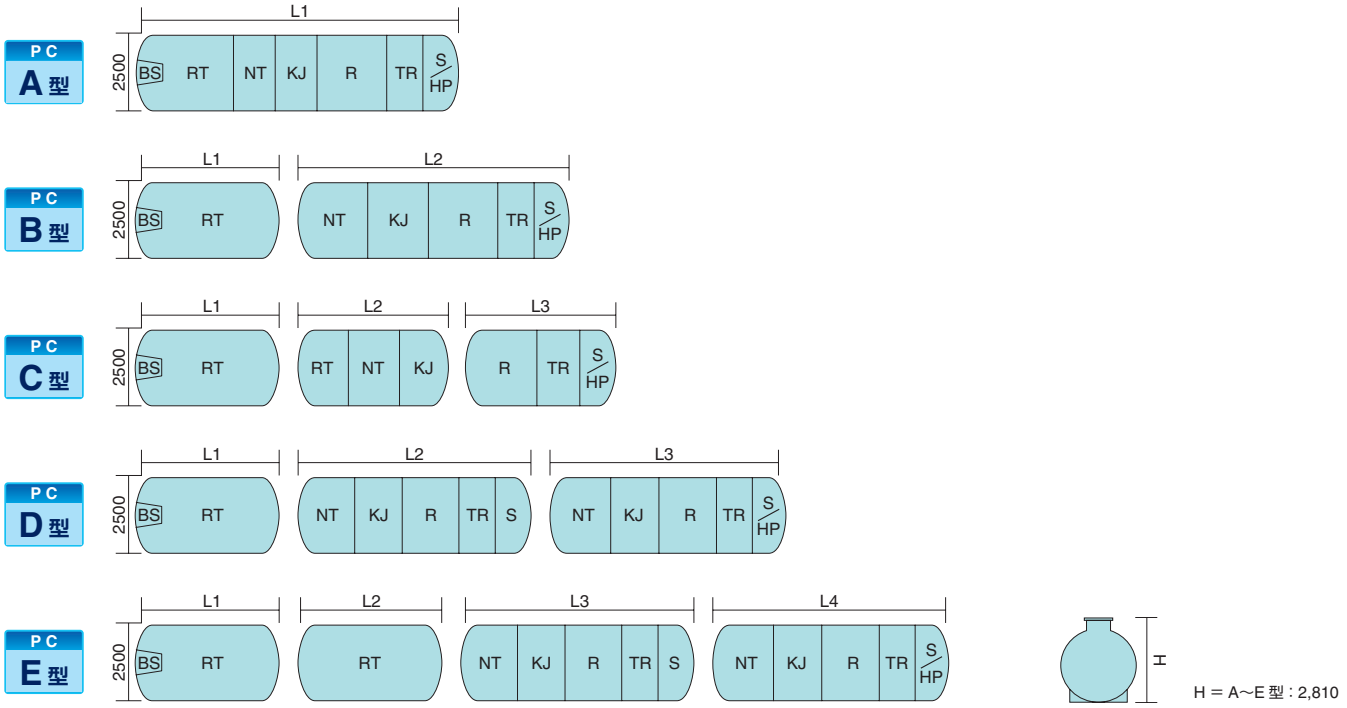


フローシート



注）●汚泥循環運転とは、馴養期間（立ち上げ時）に行う運転（維持管理要領書参照）。

■ パターン図



【記号説明】 **BS**：ばっ気型スクリーン　**RT**：流量調整槽　**NT**：汚泥濃縮貯留槽　**KJ**：夾雑物除去槽　**R**：担体流動槽　**TR**：担体濾過槽　**S**：消 毒 槽　**HP**：放流ポンプ槽

※1　A～Eパターンは管体形状Ⅰ、Ⅱ型(φ 2500)　※2　ばっ気型スクリーンと放流ポンプ槽は省略する場合があります。

■ PC型　製品寸法例

流入汚水量：200ℓ／人・d　**流入 BOD**：200mg／ℓ

排水時間	処理対象人員	型　式	寸法 L1	寸法 L2	寸法 L3	寸法 L4
12時間	60	PCⅠ[Ⅱ]-60A	6,700　(6,700)	-	-	-
	80	PCⅠ[Ⅱ]-80A	6,700　(6,700)	-	-	-
	100	PCⅠ[Ⅱ]-100A	7,450　(7,800)	-	-	-
	120	PCⅠ[Ⅱ]-120A	9,050　(9,050)	-	-	-
	130	PCⅠ[Ⅱ]-130A	9,450 (10,100)	-	-	-
	150	PCⅠ[Ⅱ]-150A	10,740 (11,950)	-	-	-
	170	PCⅠ[Ⅱ]-170A（B）	11,950　(5,900)	(7,400)	-	-
	200	PCⅠ[Ⅱ]-200A（B）	11,950　(5,900)	(8,150)	-	-
	250	PCⅠ[Ⅱ]-250B	5,900　(5,900)	8,600　(9,750)	-	-
	300	PCⅠ[Ⅱ]-300B	5,900　(5,900)	9,850 (11,200)	-	-
	400	PCⅠ[Ⅱ]-400D	6,650　(6,650)	7,250　(8,150)	7,250 (8,150)	-
	500	PCⅠ[Ⅱ]-500E	5,900　(5,900)	5,900　(5,900)	8,600 (9,750)	8,600 (9,750)
8時間	60	PCⅠ[Ⅱ]-60A	6,700　(6,700)	-	-	-
	80	PCⅠ[Ⅱ]-80A	6,700　(6,700)	-	-	-
	100	PCⅠ[Ⅱ]-100A	7,450　(7,800)	-	-	-
	120	PCⅠ[Ⅱ]-120A	9,050　(9,050)	-	-	-
	130	PCⅠ[Ⅱ]-130A	9,450 (10,100)	-	-	-
	150	PCⅠ[Ⅱ]-150A	10,740 (11,950)	-	-	-
	170	PCⅠ[Ⅱ]-170B	5,900　(5,900)	7,250　(7,400)	-	-
	200	PCⅠ[Ⅱ]-200B	6,650　(6,650)	7,250　(8,150)	-	-
	250	PCⅠ[Ⅱ]-250B	8,200　(8,200)	8,600　(9,750)	-	-
	300	PCⅠ[Ⅱ]-300B	9,600　(9,600)	9,850 (11,200)	-	-
	400	PCⅠ[Ⅱ]-400E	6,650　(6,650)	6,650　(6,650)	7,250 (8,150)	7,250 (8,150)
	500	PCⅠ[Ⅱ]-500E	8,200　(8,200)	8,200　(8,200)	8,600 (9,750)	8,600 (9,750)

※(　)内値は、汚泥貯留日数 28 日の場合の型式、寸法を示しています。

フジクリーン 高度処理浄化槽 窒素・リン除去型

CRX-G型

処理対象人員：5～90人槽（1～18m³／日）

業界唯一のし尿系排水対応浄化槽

放流水質

BOD	10mg／ℓ以下
SS	10mg／ℓ以下
T-N	10mg／ℓ以下
T-P	1mg／ℓ以下
大腸菌群数	3,000個／cm³以下

財日本建築センターによる性能評価値

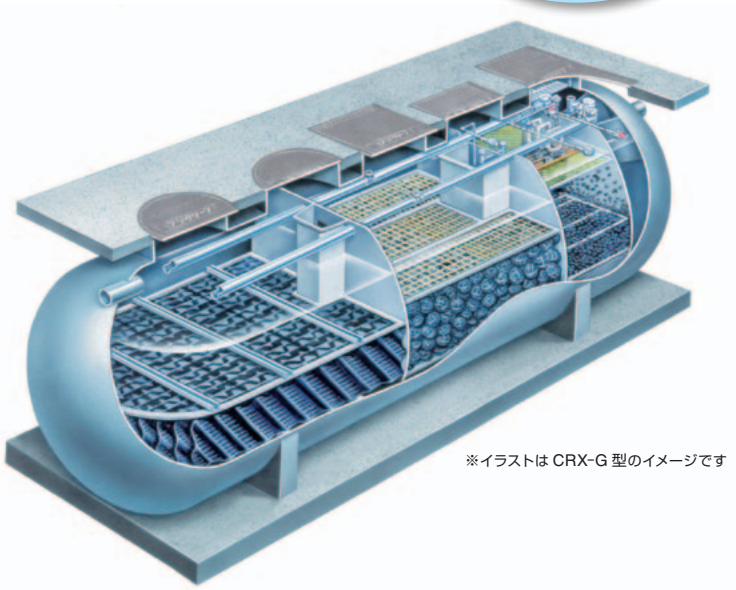
流量調整型嫌気濾床・担体流動生物濾過循環方式にリン除去装置を加えた方式

業界唯一のし尿系排水対応浄化槽

『し尿主体の事業系の排水処理の場合に限る』

［し尿系排水の特徴］

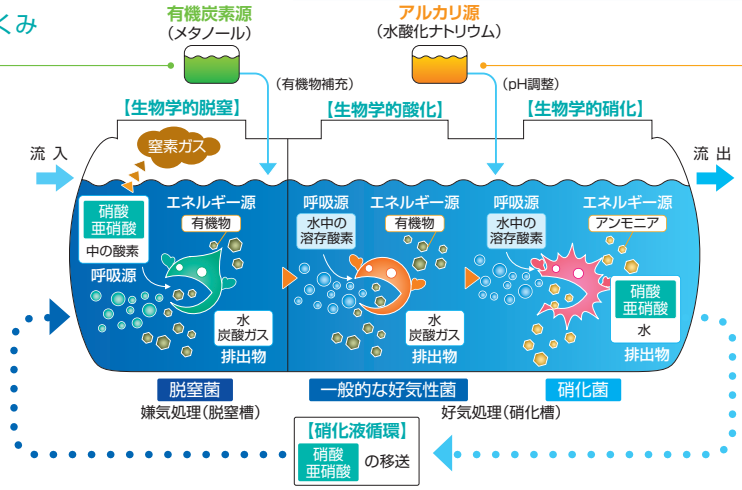
- 住宅系以外の建築用途の場合には、全排水中に占めるし尿系の割合によって、汚濁物質の濃度は大きく異なります。特に工場・事業場は、浴室、洗濯、台所からの排水が少なく、トイレ、洗面からの排水が中心となり、窒素、リンの濃度が高く、負荷量も多い事が一般的です。
- CRX-G 型はこのようなし尿系排水の特徴に合わせて専用設計をした業界唯一の浄化槽です。



※イラストは CRX-G 型のイメージです

生物学的硝化脱窒素法のしくみ

流入水の窒素濃度が高くなると脱窒反応に必要な有機物の消費量が大きくなり、有機物量が不足します。脱窒には有機物が窒素の 3～5 倍程度必要ですので、それを補うため、有機炭素源（メタノール）を添加します。



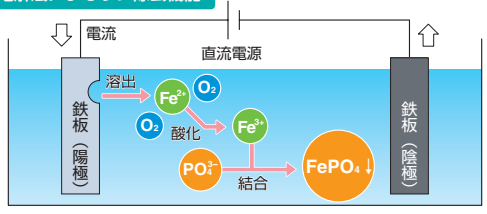
流入水の窒素濃度が高くなると硝化反応で生成される酸（H^+）が多くなり、硝化反応に必要なアルカリ分の消費量が大きくなります。この不足を補うため、アルカリ源（水酸化ナトリウム）を添加します。

鉄電解法によるリン除去のしくみ

日本で初めて

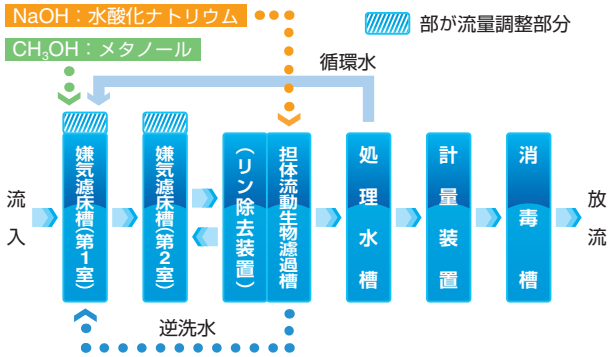
鉄電解法により、鉄とリンを結合させ、$FePO_4$ として除去します。

鉄電解法によるリン除去機能



※処理水のリン濃度は、1mg／ℓ以下。

フローシート



※ 60 ～ 90 人槽は 2 系列となります。

フジクリーンプラント 高度処理浄化槽

窒素・リン除去型

PM型

処理対象人員：51～4000人槽（10.2～200m³／日）

建築用途に合わせた仕様をラインアップ

放流水質

BOD	5mg／ℓ以下
COD	10mg／ℓ以下
SS	5mg／ℓ以下
T-N	10mg／ℓ以下
T-P	0.5mg／ℓ以下
n-Hex	5mg／ℓ以下
大腸菌群数	100個／cm³以下

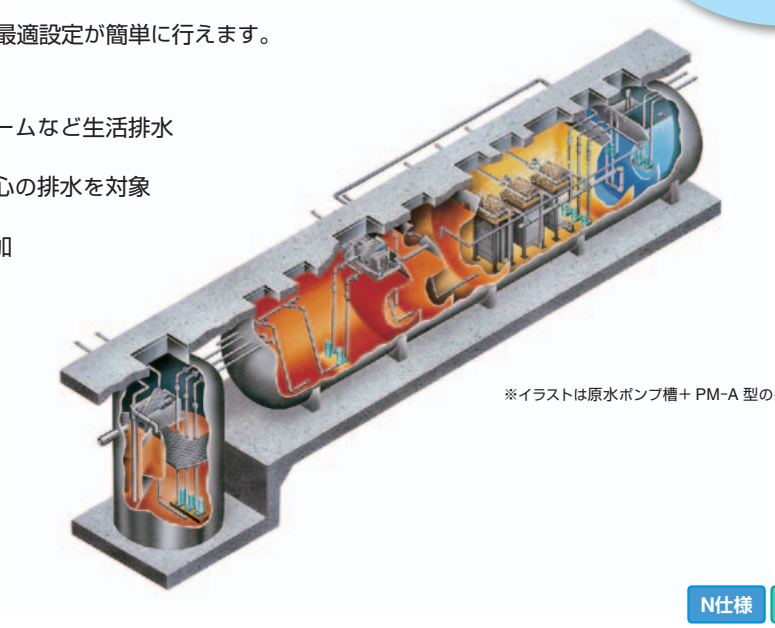
財日本建築センターによる性能評定値

凝集剤添加型膜分離活性汚泥方式　N仕様　F仕様　H仕様

し尿系排水専用の運転モードを標準装備（F仕様・H仕様）

- 膜分離法の採用により、高濃度活性汚泥運転が可能。
  又、処理水が非常に清澄。
- 専用の制御プログラムで、タイマなどの最適設定が簡単に行えます。
- 用途に合わせて３つの仕様を用意。

N仕様	共同住宅、ホテル、老人ホームなど生活排水
F仕様	工場、事業所などトイレ中心の排水を対象
H仕様	F 仕様にさらなる機能を追加

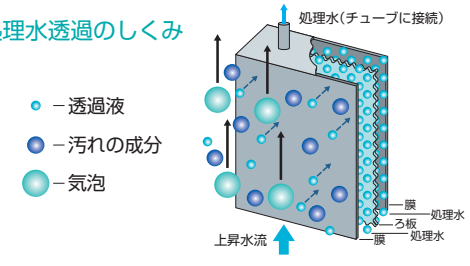


※イラストは原水ポンプ槽＋ PM-A 型のイメージです

■ PM 型　機能一覧

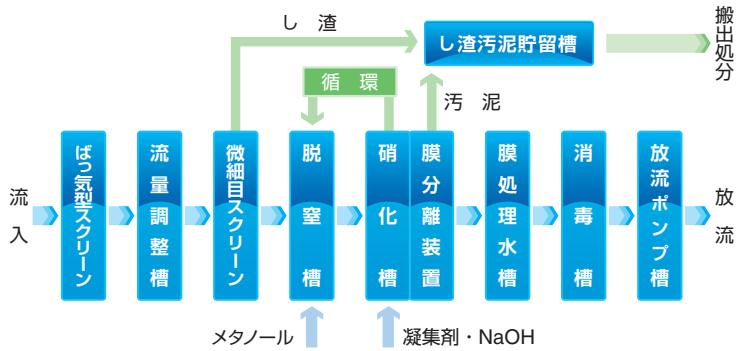
		N仕様	F仕様	H仕様
立ち上げ運転モード	立ち上げ運転モードを標準装備し、運転初期の維持管理をサポートします。	●	●	●
長期休暇モード	休暇期間を設定することで、循環水量や薬液添加量を自動調整し、水質悪化を防止します。	-	●	●
循環ポンプインバーター制御	循環ポンプをインバーター制御することで循環水量を調整する精度が上がり、効率的な窒素除去が行われます。	-	●	●
メタノール添加装置	有機物（メタノール）の添加により有機炭素源を補います。	-	●	●
水酸化ナトリウム添加装置	アルカリ源（水酸化ナトリウム）の添加により pH を調整します。	-	●	●
推奨運転お知らせ機能（流入水量測定装置採用）	精度の高い水量測定により、現状に最も適した運転方法をお知らせします。	-	-	●
負圧及び膜間差圧の常時監視装置	負圧及びろ過圧力を常時監視する事により、膜の目詰まり状況の変化をリアルタイムで監視できます。	-	-	●
水中撹拌装置（脱窒槽）	嫌気撹拌方式にて、撹拌時間を自由に調整することができ効率が格段にアップします。	-	-	●

処理水透過のしくみ



膜の表面には、汚れの成分よりもサイズの小さい、マイクロメートル単位の微孔があいているため、透過液（水）しか通過できません。この微孔へは、当然汚れの成分も吸い寄せられていき、そのままにしておけば目詰りをおこします。そこで、膜の下からばっ気します。水流と気泡が膜表面についた汚れの成分を「洗い落とす」ことで微孔の目詰りを防ぎます。

フローシート F 仕様：51 ～ 500 人槽の場合



※膜処理水槽は省略する場合があります。

豊富な高度処理浄化槽のラインナップ

フジクリーンプラント 高度処理浄化槽 BOD除去型

PMJ型

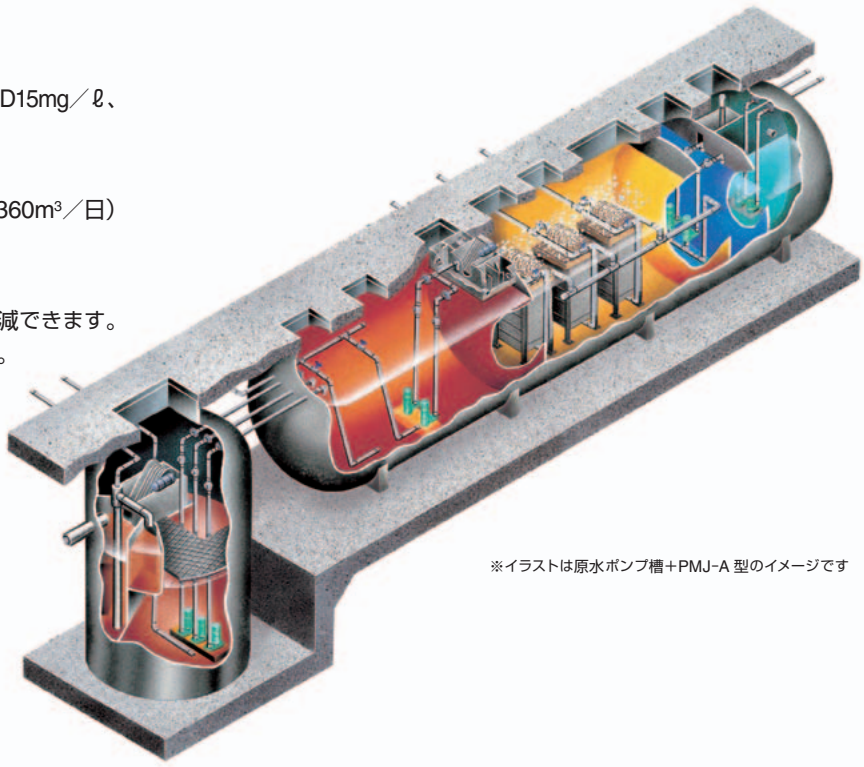
処理対象人員：51～7,200人（5.1～360m³／日）

放流水質
BOD 10mg／ℓ以下
COD 15mg／ℓ以下
SS 5mg／ℓ以下
n-Hex 3mg／ℓ以下
大腸菌群数 100個／cm²以下
（財）日本建築センターによる性能評定値

膜分離活性汚泥方式

膜分離法の採用により、コンパクト設計となっています。

- **膜分離活性汚泥法の採用**
  ばっ気槽内の活性汚泥を高濃度に保持できるため、ばっ気槽容量を小さくできます。また、沈殿槽が不要となるため、設置面積が小さくなります。
- **水質規制の厳しい場所に最適**
  処理水質が良好で安定しており、BOD10mg／ℓ、COD15mg／ℓ、SS5mg／ℓ以下と高性能となっています。
- **360m³／日まで対応可能**
  膜の採用により FRP 製浄化槽で、最大 7,200 人（360m³／日）までの処理を実現しました。
- **遠隔監視システム導入可能（オプション）**
  遠隔監視システム導入により、維持管理費用が低減できます。また液中膜のトラブルを予防することができます。



※イラストは原水ポンプ槽＋PMJ-A 型のイメージです

フジクリーン 高度処理浄化槽 窒素除去型

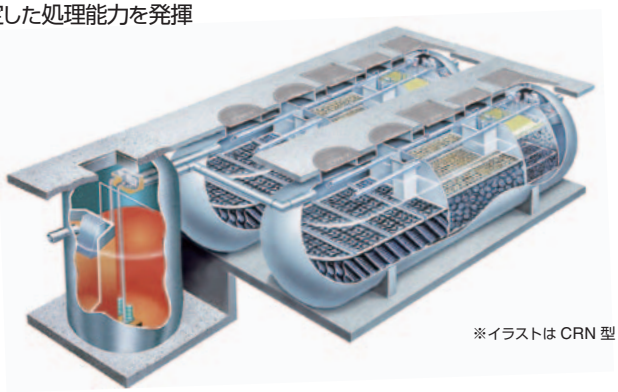
CRN-60～150型

処理対象人員：60～150人（12～30m³／日）

放流水質
BOD 10mg／ℓ以下
SS 10mg／ℓ以下
T-N 10mg／ℓ以下
（財）日本建築センターによる性能評価値

流量調整型嫌気濾床・担体流動生物濾過循環方式

- 二次処理水の放流量をコントロールし、安定した処理能力を発揮
- 汚泥の返送量が一目瞭然
- 逆洗時は 2 台のブロワが同時稼動



※イラストは CRN 型 2 系列のイメージです

よりニーズに合わせてお選びいただけます

フジクリーン 高度処理浄化槽 窒素・リン除去型

CRX-60〜150型

処理対象人員：60〜150人（12〜30m³／日）

流量調整型嫌気濾床・担体流動生物濾過循環方式にリン除去装置を加えた方式

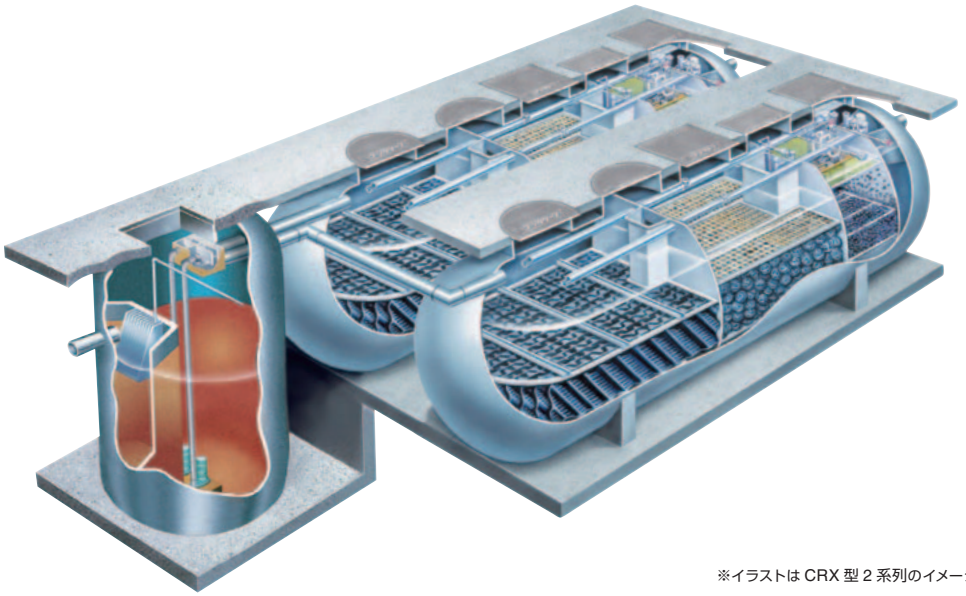
放流水質

BOD	10mg／ℓ以下
SS	10mg／ℓ以下
T-N	10mg／ℓ以下
T-P	1mg／ℓ以下

財日本建築センターによる性能評価値

戸建住宅、共同住宅、
学校などコミュニティエリアの高度処理浄化槽

- 二次処理水の放流量をコントロールし、安定した処理能力を発揮
- 汚泥の返送量が一目瞭然
- 逆洗時は 2 台のブロワが同時稼動
- 好気性処理槽の汚水中に鉄電極を浸漬させ、リンを除去
- 浄化槽内に組み込まれた中継 BOX を着脱自在にし、メンテナンス性を向上
- 電極の洗浄方法



※イラストは CRX 型 2 系列のイメージです

実績豊富な例示仕様で、メンテナンス性に優れた浄化槽

フジクリーンプラント PT型

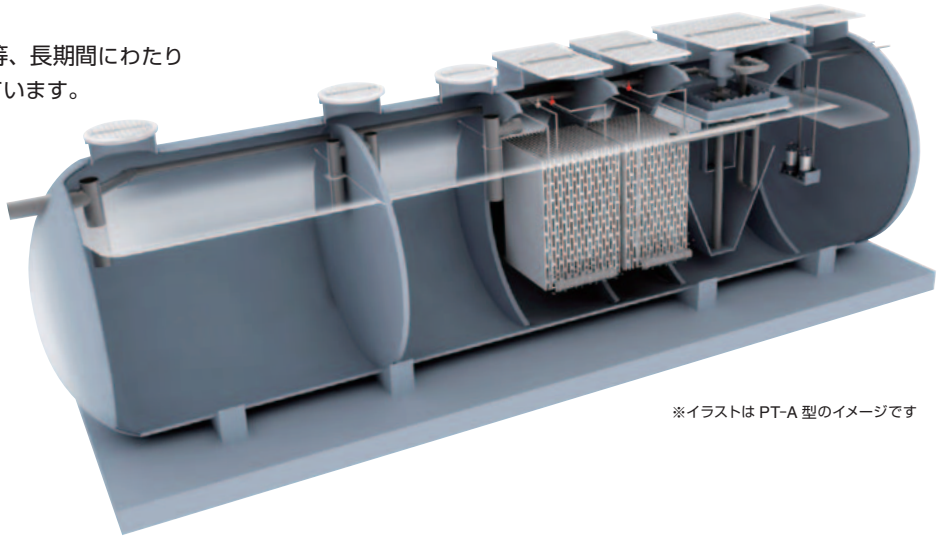
処理対象人員：51～500人（2.55～38.72m³／日）

放流水質（旧告示第6-2）
BOD 20 mg／ℓ以下
COD (30) mg／ℓ以下
SS (50) mg／ℓ以下

接触ばっ気方式（沈殿分離槽）

シンプルな構造でメンテナンスが容易

- 計量ポンプがなく、槽内構造もシンプルなため、メンテナンスが容易です。点検頻度は、1回／3ヶ月以上となります。
- 汚泥を沈殿分離槽で貯留するため、清掃頻度は1回／年以上の実施となります。
  ※使用状況により、清掃を実施してください。
- 接触ばっ気方式の採用により、学校施設等、長期間にわたり計画汚水量より少ない負荷の用途に適しています。



※イラストはPT-A型のイメージです

フジクリーンプラント PU型

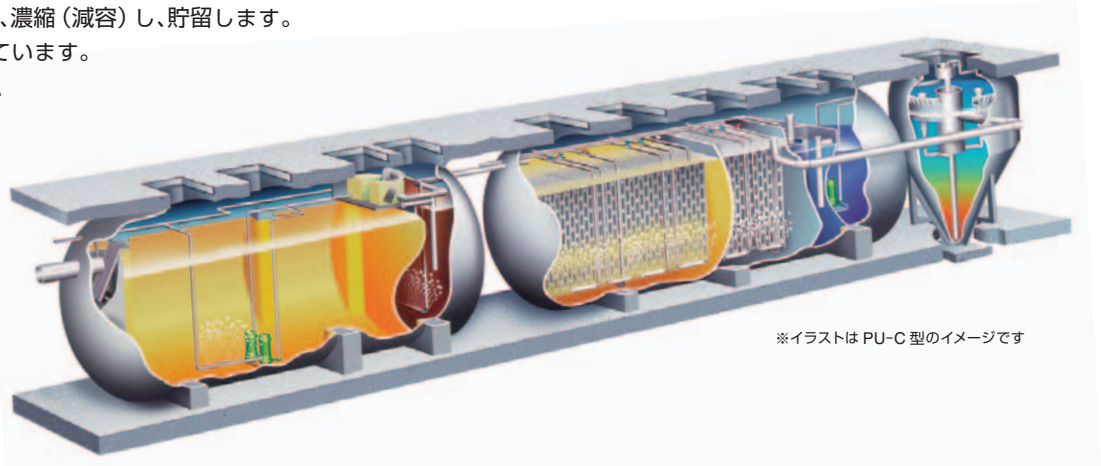
処理対象人員：101～500人（5.05～112m³／日）

放流水質（旧告示第6-2）
BOD 20 mg／ℓ以下
COD (30) mg／ℓ以下
SS (50) mg／ℓ以下

接触ばっ気方式（流量調整槽）

流量調整槽を有するので、安定した水質を提供

- 流量調整を行うため、後段の処理槽へ一定の水を移送でき、ピーク排水があった場合でも安定した処理ができます。
- 点検頻度は、1回／2週間以上となります。
- 余利汚泥は、汚泥濃縮貯留槽で、濃縮（減容）し、貯留します。貯留容量は、14日分※を有しています。
  ※使用状況により、清掃を実施してください。



※イラストはPU-C型のイメージです

経済性に優れ高性能な FRP 製処理施設

地域資源循環技術センター

-FM-F型

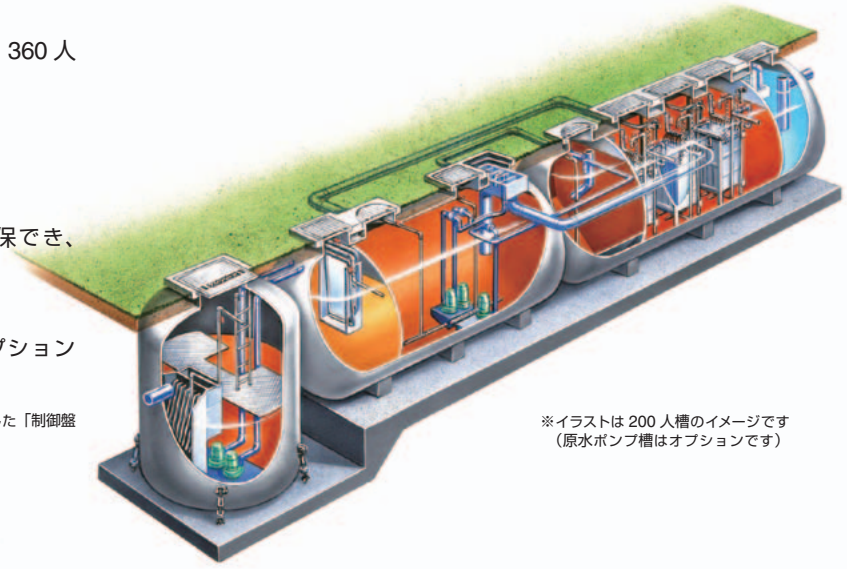
処理対象人員：51～700人（13.77～189m³／日）

放流水質
BOD 5mg／ℓ以下
COD 10mg／ℓ以下
SS 5mg／ℓ以下
T-N 15mg／ℓ以下
T-P 0.5mg／ℓ以下
財日本建築センターによる性能評価値

膜分離活性汚泥方式

- **確実で安定した処理性能**
  「膜分離活性汚泥方式」を採用することにより、今後の環境動向を先取りした高度な処理性能を発揮します。
- **豊富なバリエーション**
  処理対象人員は 60 人から 360 人まで 10 人槽ごと、360 人から 700 人までは 20 人槽ごととなっています。
- **自由な配置**
  直列や並列などの敷地に合わせた配列ができます。
- **施工期間の大幅な短縮**
  工場生産品の FRP 製品のため安定した品質が確保でき、現場での施工が容易に行えます。
- **選べるオプション**
  原水ポンプ槽、汚泥貯留槽、放流ポンプ槽は、オプション群から必要なものが選択できます。

※従来型の RC 造機械室も選択できますが、更にコストパフォーマンスを追及した「制御盤（計装盤）一体型機械収納ボックス」も開発しました。



※イラストは 200 人槽のイメージです
（原水ポンプ槽はオプションです）

日本農業集落排水協会

-S96-F型

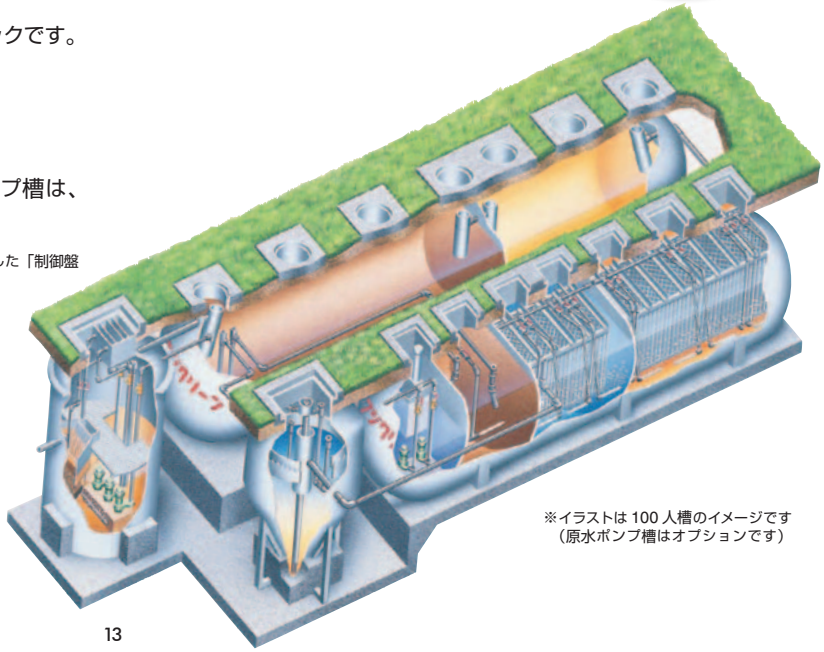
処理対象人員：51～400人（13.8～108m³／日）

放流水質
BOD 20mg／ℓ以下
SS 50mg／ℓ以下
性能評定値

沈殿分離及び接触ばっ気を組み合わせた方式

- **豊富なバリエーション**
  処理対象人員は 51 人から 400 人の内、10 人ごとから選択できます。
- FRP 製処理施設で細分まで配慮が行き届いた高スペックです。
- **自由な配置**
  直列や並列などの敷地に合わせた配列ができます。
- **選べるオプション**
  原水ポンプ槽、散水ポンプ槽、汚泥貯留槽、放流ポンプ槽は、オプション群から必要なものが選択できます。

※従来型の RC 造機械室も選択できますが、更にコストパフォーマンスを追及した「制御盤（計装盤）一体型機械収納ボックス」も開発しました。



※イラストは 100 人槽のイメージです
（原水ポンプ槽はオプションです）

■ 各機種寸法表

φ2000 管体（W＝2,012 H＝2,270）

CRX-G型

設計条件　計画汚水量：200ℓ／人・d　流入水質 BOD：200mg／ℓ ,T-N：80mg／ℓ ,T-P：8mg／ℓ

人 槽	型 式	L1	L2	原水ポンプ槽
5	CRX-5G	3,270	-	-
10	CRX-10G	3,940	-	-
30	CRX-30G	10,030	-	-
50	CRX-50G	6,600	10,770	-
60	CRX-60G	10,030×2	-	φ1,500
70	CRX-70G	4,500×2	7,580×2	φ1,500
80	CRX-80G	5,200×2	8,640×2	φ1,500
90	CRX-90G	5,900×2	9,710×2	φ1,500

CRN・CRX型

設計条件　計画汚水量：200ℓ／人・d　流入水質 BOD：200mg／ℓ ,T-N：50mg／ℓ ,T-P：5mg／ℓ

人 槽	型 式	L1	原水ポンプ槽
60	CRN(X)-60	6,050×2	φ1,500
70	CRN(X)-70	7,130×2	φ1,500
80	CRN(X)-80	8,020×2	φ1,500
100	CRN(X)-100	10,030×2	φ1,500
120	CRN(X)-120	8,020×3	φ1,500
150	CRN(X)-150	10,030×3	φ1,500

φ2500 管体（W＝2,500 H＝2,810）

PM型

設計条件　計画汚水量：200ℓ／人・d
流入水質 BOD：200mg／ℓ ,T-N：80mg／ℓ ,T-P：8mg／ℓ　排水時間：12 時間

人 槽	型 式	L1	L2	L3
51	PMⅡ-51A	8,480	-	-
100	PMⅡ-100A	10,210	-	-
200	PMⅡ-200B	8,100	9,080	-
300	PMⅡ-300D	5,760×2	6,100	6,740
400	PMⅡ-400D	7,300×2	7,990	8,250
500	PMⅡ-500D	8,970×2	9,880	9,770

PMJ型

設計条件　計画汚水量：200ℓ／人・d
流入水質 BOD：200mg／ℓ　排水時間：12 時間

人 槽	型 式	L1	L2
51	PMJⅡ-51A	7,370	-
100	PMJⅡ-100A	7,370	-
200	PMJⅡ-200A	8,410	-
300	PMJⅡ-300A	10,580	-
400	PMJⅡ-400B	6,870	7,660
500	PMJⅡ-500B	8,160	8,700

PT型

設計条件　計画汚水量：200ℓ／人・d　流入水質 BOD：200mg／ℓ　排水時間：12 時間

人 槽	型 式	L1	L2	沈殿槽
51	PTⅡ-51A	9,460	-	-
60	PTⅡ-60A	9,910	-	-
80	PTⅡ-80B	4,300	8,310	-
100	PTⅡ-100B	5,240	9,570	-
120	PTⅡ-120B	9,570	5,800	φ2,000
150	PTⅡ-150F	11,170	6,400	φ2,500

PU型

設計条件　計画汚水量：200ℓ／人・d　流入水質 BOD：200mg／ℓ　排水時間：12 時間

人 槽	型 式	L1	L2	L3	L4	沈殿槽
101	PUⅡ-101C	9,570	-	-	-	φ2,000
120	PUⅡ-120C	10,220	-	-	-	φ2,000
150	PUⅡ-150D	6,800	6,400	-	-	φ2,500
200	PUⅡ-200D	8,500	8,300	-	-	φ2,500
250	PUⅡ-250D	10,300	9,700	-	-	φ2,500
300	PUⅡ-300K	6,300	6,600	7,600	6,100	φ2,500×2
400	PUⅡ-400K	9,000	7,800	8,900	6,800	φ2,500×2

地域資源循環技術センター -FM-F型

設計条件　計画汚水量：270ℓ／人・d　流入水質 BOD：200mg／ℓ　排水時間：12 時間

人 槽	型 式	L1	L2	原水ポンプ槽
60	-FM-F-1	7,220	-	-
100	-FM-F-1	8,280	-	-
150	-FM-F-2	5,330	5,890	-
250	-FM-F-2	7,980	8,590	-
500	-FM-F-3	7,980×2	8,590×2	φ2,500
700	-FM-F-3	10,630×2	10,290×2	φ2,500

日本農業集落排水協会 -S96-F型

設計条件　計画汚水量：270ℓ／人・d　流入水質 BOD：200mg／ℓ　排水時間：12 時間

人 槽	型 式	L1	L2	L3	沈殿槽
51	-S96-F-1	5,540	6,620	-	-
70	-S96-F-1	7,370	7,610	-	-
80	-S96-F-2	8,340	6,510	-	φ2,000
120	-S96-F-2	11,550	8,890	-	φ2,500
140	-S96-F-3	8,730	6,150	8,390	φ2,500
200	-S96-F-4	11,300	9,130	10,610	φ2,500×2

■ 処理対象人員算定表

建築物の用途別によるし尿浄化槽の処理対象人員算定基準（日本工業規格 JIS A3302-2000）

類似用途別番号	建築用途					処理対象人員		算定単位当たりの汚水量及び BOD 濃度参考値		処理対象人員(n)1 人当たりの汚水量及び BOD 量参考値		排水時間（参考）
						算定式	算定単位	汚水量	BOD (mg／ℓ)	水量 負荷算定 (ℓ／人・日)	BOD 負荷算定 (g／人・日)	
1	集会場施設関係	イ	公会堂・集会場・劇場・映画館・演芸場			n＝0.08A	n：人員（人） A：延べ面積(m²)	16 （ℓ／m²・日）	150	○ (200)	(30)	公会堂・集会場 8 劇場・演芸場 10 映画館 12
		ロ	競輪場・競馬場・競艇場			n＝16C	n：人員（人） C(注1)：総便器数(個)	2,400 （ℓ／個・日）	260	(150)	○ (40)	10
		ハ	観覧場・体育館			n＝0.065A	n：人員（人） A：延べ面積(m²)	10 （ℓ／m²・日）	260	(155)	○ (40)	15
2	住宅施設関係	イ	住宅	A ≦ 130 （注2）の場合		n＝5	n：人員（人） A：延べ面積(m²)	1,000 （ℓ／戸・日）	200	○ (200)	○ (40)	12
				130 （注2）＜Aの場合		n＝7		1,400 （ℓ／戸・日）				
				（2世帯住宅の場合）		(n＝10)	合併処理対象で、浴室及び台所が 2 つ以上ある住宅の処理水は 2000 （ℓ／戸・日）					
		ロ	共同住宅			n＝0.05A	n：人員（人） A：延べ面積(m²) ただし、1 戸当たり n が、3.5 人以下の場合は 1 戸当たりの n を 3.5 人又は 2 人（1 戸が 1 居室（注3）だけで構成されている場合に限る）とし、1 戸当たりの n が 6 人以上の場合は 1 戸当たりの n を 6 人とする。	10 （ℓ／m²・日）	200	○ (200)	○ (40)	
		ハ	下宿・寄宿舎			n＝0.07A	n：人員（人） A：延べ面積(m²)	14 （ℓ／m²・日）	140	○ (200)	○ (28)	8
		ニ	学校寄宿舎・自衛隊キャンプ宿舎 老人ホーム・養護施設			n＝P	n：人員（人） P：定員（人）	200 （ℓ／人・日）	200	○ (200)	○ (40)	8 (但し老人ホーム 10)
3	宿泊施設関係	イ	ホテル・旅館	結婚式場・宴会場あり		n＝0.15A	n：人員（人） A：延べ面積(m²)	30 （ℓ／m²・日）	200	○ (200)	○ (40)	10
				結婚式場・宴会場なし		n＝0.075A	n：人員（人） A：延べ面積(m²)	30 （ℓ／m²・日）	100	(400)	○ (40)	
		ロ	モーテル			n＝5R	n：人員（人） R：客室数	1,000 （ℓ／室・日）	50	○ (200)	(30)	
		ハ	簡易宿泊所・合宿所・ユースホステル・青年の家			n＝P	n：人員（人） P：定員（人）	200 （ℓ／人・日）	200	○ (200)	○ (40)	8
4	医療施設関係	イ	病院 療養所 伝染病院	業務用の厨房設備又は洗濯設備を設ける場合	300床未満の場合	n＝8B	n：人員（人） B：ベッド数(床)	ベッド数 300 床以下 1,000 （ℓ／床・日）	320	(125)	○ (40)	12
					300床以上の場合	n＝11.43(B−300)＋2,400				○ (113)	(36)	
				業務用の厨房設備又は洗濯設備を設けない場合	300床未満の場合	n＝5B		ベッド数 300 床を超える床数 1,300 （ℓ／床・日）	150	○ (200)	(30)	
					300床以上の場合	n＝7.14(B−300)＋1,500				○ (182)	(27)	
		ロ	診療所・医院			n＝0.19A	n：人員（人） A：延べ面積(m²)	25 （ℓ／m²・日）	300	(130)	○ (40)	8
5	店舗関係	イ	店舗・マーケット			n＝0.075A	n：人員（人） A：延べ面積(m²)	15 （ℓ／m²・日）	150	○ (200)	(30)	8
		ロ	百貨店			n＝0.15A		30 （ℓ／m²・日）	150	○ (200)	(30)	
		ハ	飲食店	一般の場合		n＝0.72A		130 （ℓ／m²・日）	220	(180)	○ (40)	8
				汚濁負荷の高い場合		n＝2.94A		260 （ℓ／m²・日）	450	(90)	○ (40)	
				汚濁負荷の低い場合		n＝0.55A		110 （ℓ／m²・日）	200	○ (200)	○ (40)	
		ニ	喫茶店			n＝0.80A		160 （ℓ／m²・日）	150	○ (200)	(30)	10
6	娯楽施設関係	イ	玉突場・卓球場			n＝0.075A	n：人員（人） A：延べ面積(m²)	15 （ℓ／m²・日）	150	○ (200)	(30)	8
		ロ	パチンコ店			n＝0.11A		22 （ℓ／m²・日）	150	○ (200)	(30)	12
		ハ	囲碁クラブ・マージャンクラブ			n＝0.15A		30 （ℓ／m²・日）	150	○ (200)	(30)	8
		ニ	ディスコ			n＝0.50A		100 （ℓ／m²・日）	150	○ (200)	(30)	6
		ホ	ゴルフ練習場			n＝0.25S	n：人員（人） S：打席数(席)	50 （ℓ／席・日）	150	○ (200)	(30)	10
		ヘ	ボーリング場			n＝2.50L	n：人員（人） L：レーン数(レーン)	500 （ℓ／レーン・日）	150	○ (200)	(30)	
		ト	バッティング場			n＝0.20S	n：人員（人） S：打席数(席)	40 （ℓ／席・日）	150	○ (200)	(30)	
		チ	テニス場	ナイター設備有		n＝3S	n：人員（人） S：コート数(面)	600 （ℓ／面・日）	150	○ (200)	(30)	
				ナイター設備無		n＝2S		400 （ℓ／面・日）		○ (200)	(30)	
		リ	遊園地・海水浴場			n＝16C	n：人員（人） C(注1)：総便器数(個)	2,400 （ℓ／個・日）	260	○ (150)	○ (40)	7
		ヌ	プール・スケート場			$n=\frac{20C+120U}{8}\times t$	n：人員（人） C：大便器数(個) U(注4)：小便器数(個) t：単位便器当たり 1 日平均使用時間（時間）t ＝ 1.0 ～ 2.0	−	150	−	−	10
		ル	キャンプ場			n＝0.56P	n：人員（人） P：収容人数(人)	70 （ℓ／人・日）	320	○ (125)	○ (40)	8
		ヲ	ゴルフ場			n＝21H	n：人員（人） H：ホール数(ホール)	250 （ℓ／人・日）	130	○ (250)	○ (26)	10
7	駐車場関係	イ	サービスエリア	便所	一般部	n＝3.60P	n：人員（人） P：駐車ます数(ます)	480 （ℓ／ます・日）	300	(135)	○ (40)	12
					観光部	n＝3.83P		510 （ℓ／ます・日）			○ (40)	
					売店なし PA	n＝2.55P		340 （ℓ／ます・日）			○ (40)	
				売店	一般部	n＝2.66P		180 （ℓ／ます・日）	590	(115)	○ (40)	
					観光部	n＝2.81P		190 （ℓ／ます・日）			○ (40)	
		ロ	駐車場・自動車車庫			$n=\frac{20C+120U}{8}\times t$	n：人員（人） C：大便器数(個) U(注4)：小便器数(個) t：単位便器当たり 1 日平均使用時間（時間）t ＝ 0.4 ～ 2.0	−	−	−	−	
		ハ	ガソリンスタンド			n＝20	n：人員（人） 1 営業所当たり	−	−	−	−	8
8	学校施設関係	イ	保育所・幼稚園・小学校・中学校			n＝0.20P	n：人員（人） P：定員（人）	50 （ℓ／人・日）	180	○ (200)	(36)	8
		ロ	高等学校・大学・各種学校			n＝0.25P		60 （ℓ／人・日）	180	○ (200)	(36)	
		ハ	図書館			n＝0.08A	n：人員（人） A：延べ面積(m²)	16 （ℓ／m²・日）	150	○ (200)	○ (30)	5
9	事務関係	イ	事務所	厨房設備有		n＝0.075A	n：人員（人） A：延べ面積(m²)	10 （ℓ／m²・日）	200	○ (200)	(40)	8
				厨房設備無		n＝0.06A		10 （ℓ／m²・日）	200	(270)	○ (40)	
10	作業関係	イ	工場・作業所 研究所・試験所	厨房設備有		n＝0.75P	n：人員（人） P：定員（人）	100 （ℓ／人・日）	300	(133)	○ (40)	工場・作業所 交替勤務無 8 交替有 12 ～ 24
				厨房設備無		n＝0.30P		60 （ℓ／人・日）	150	○ (200)	(30)	研究所・試験所 8
11	1～10の用途に属さない施設	イ	市場			n＝0.02A	n：人員（人） A：延べ面積(m²)	4.2 （ℓ／m²・日）	200	○ (200)	○ (40)	10
		ロ	公衆浴場			n＝0.17A		33 （ℓ／m²・日）	50	○ (200)	(10)	12
		ハ	公衆便所			n＝16C	n：人員（人） C(注1)：総便器数（個）	2,400 （ℓ／個・日）	260	−	○	−
		ニ	駅・バスターミナル	P ＜ 100,000 の場合		n＝0.008P	n：人員（人） P：乗降客数(人／日)	−	−	○	−	始発～最終
				100,000 ≦ P ＜ 200,000 の場合		n＝0.010P						
				200,000 ≦ P の場合		n＝0.013P						

注1　大便器数・小便器数及び両用便器数を合計した便器数。
注2　この値は、当該地域における住宅の一戸当たりの平均的な延べ面積に応じて、増減できるものとする。
注3　居室とは、建築基準法による用語の定義でいう居室であって、居住、執務、作業、集会、娯楽その他これらに類する目的のために継続的に使用する室をいう。ただし、共同住宅における台所及び食事室を除く。
注4　女子専用便所にあっては、便器数のおおむね 1／2 を小便器とみなす。

下水道へ放流

フジクリーン 人工透析廃水 pH調整ユニット

処理能力：～80床

放流水質
pH 5を超え9未満

- コンパクトスタイルで省スペースを実現しました。
- ユニット本体は耐腐食性に優れた FRP を採用しました。
- 薬液の注入は、pH 比例制御でコントロールし、ランニングコストの低減を実現しました。
- 攪拌方法は運転音の静かなポンプ循環方式を採用しました。

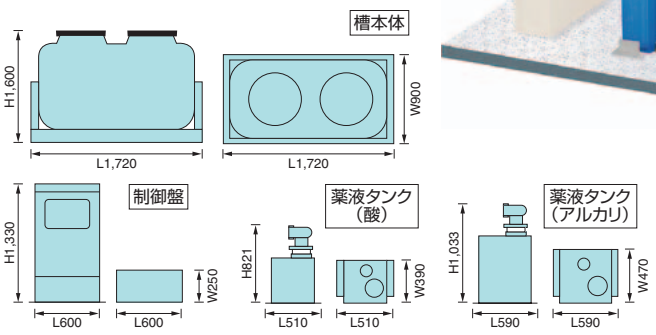
※ pH 比例制御で確実に中和する［**制御タイプ**］、中和した処理水の pH 値を常時モニターする［**監視タイプ**］、処理水の pH 値を記録する［**記録タイプ**］をご用意しています。

※洗浄薬剤は、過酢酸・次亜塩素にて想定しております。その他の薬剤を使用される場合は、個別にご相談願います。

連続式中和処理

FJP-S型 地上設置型(セパレート)

タイプ	形　式
制御タイプ	FJP-SC
監視タイプ	FJP-SW
記録タイプ	FJP-SR



※基礎コンクリートは別途施工となります。　※架台寸法を含んだ寸法となります。

中継ピット FJP-S型 オプション

コンパクト設計で、かさ上げ床下に格納

ターミナルビルや市街地のビル等のワンフロアを利用して開業される人工透析クリニックにお勧めします。

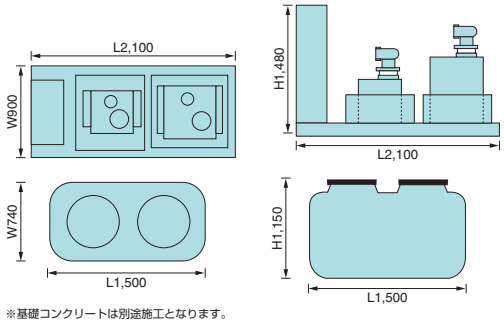
- フロア床とかさ上げ床の狭い空間に設置できます。
- 臭気対策も考慮しております。
- 薬液・汚水の漏えいに備えて、防液提及び漏水検知機を標準装備しました。

連続式中和処理

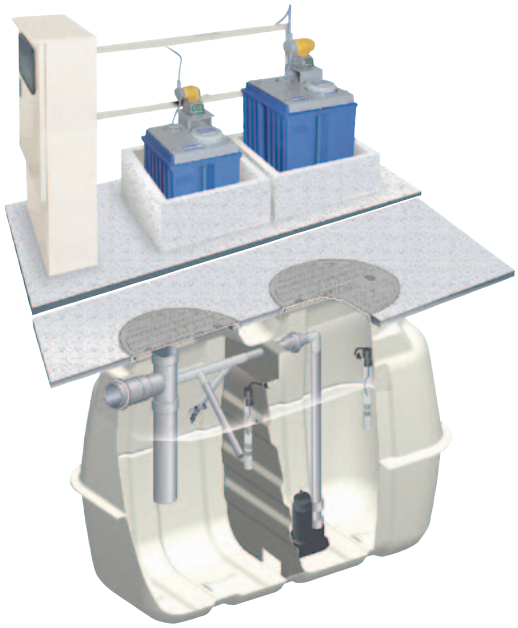
FJP-M型 地下埋設型

本体は、地下に埋設しますので流入配管が
埋設配管の場合にもポンプ槽なしで処理が行えます。

タイプ	形　式
制御タイプ	FJP-MC
監視タイプ	FJP-MW
記録タイプ	FJP-MR



※基礎コンクリートは別途施工となります。



人工透析廃水

フジクリーン 除害ユニット

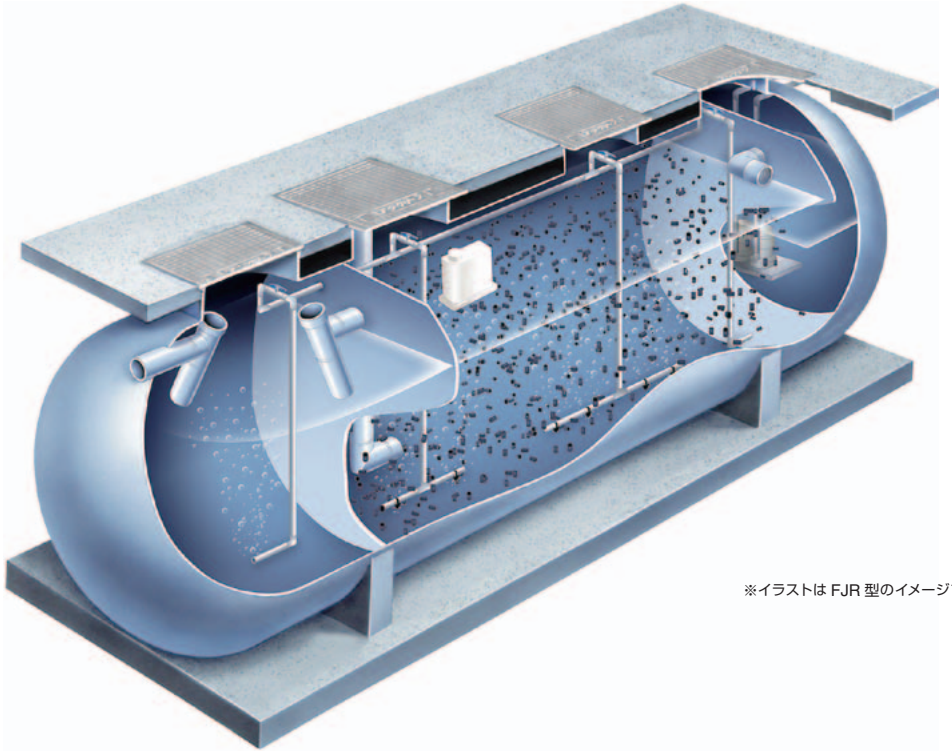
処理能力：10〜80床

放流水質
BOD 600mg／ℓ未満
SS 600mg／ℓ未満
pH 5を超え9未満

中和緩衝＋担体流動方式

FJR型

- 生物処理の前段に組み込んだ中和緩衝槽で、薬剤の影響を減衰させます。
- 担体流動方式の採用で、従来方式に比べ、コンパクトになりました。
- 余剰汚泥の発生も無く、危険な薬品を使用しないため、管理も容易で維持管理コストの低減をもたらします。
- 従来装置に比べ、15〜25%の使用電力の削減を行いました。



※イラストはFJR型のイメージです

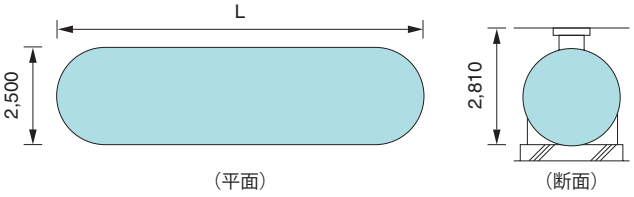
フローシート

流入 → 中和緩衝槽 → 担体流動槽 → 放流ポンプ槽 → 下水道へ放流

■ 寸法表

ベット数（床）	型式	寸法(mm)
10	FJR-10	3,300
20	FJR-20	3,800
30	FJR-30	4,600
40	FJR-40	5,300
50	FJR-50	6,300
60	FJR-60	6,900
70	FJR-70	8,250
80	FJR-80	8,850

W幅2,000mmのタイプもご用意しています。
80床を越える施設については、お問い合わせください。
2回転／日・床の場合



公共用水域へ放流

フジクリーン

人工透析廃水

BOD 処理ユニット

処理能力：10〜50床

放流水質
BOD 20mg／ℓ以下
SS 50mg／ℓ以下
pH 5.8 ～ 8.6

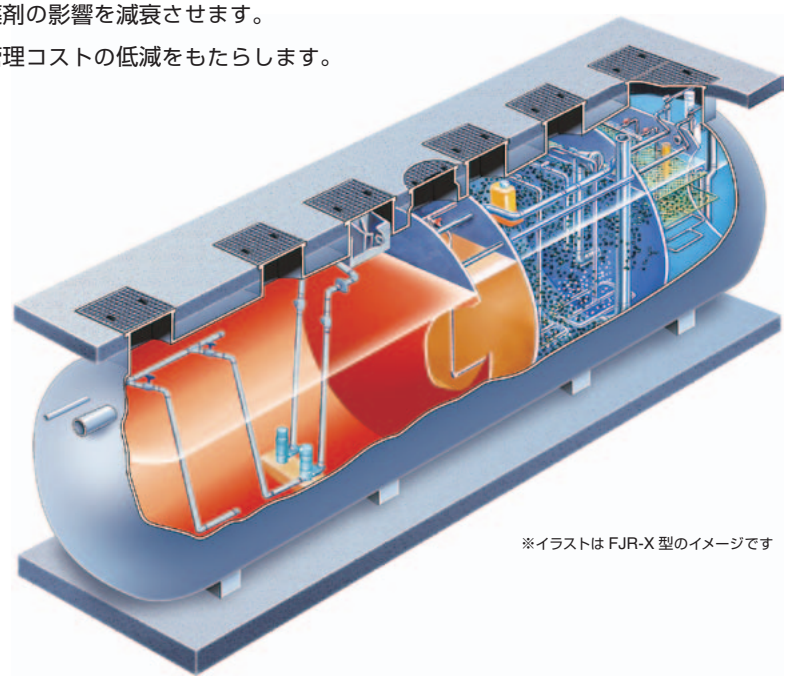
中和緩衝＋担体流動方式

FJR-X型

新方式で、維持管理のご負担を軽減しました。

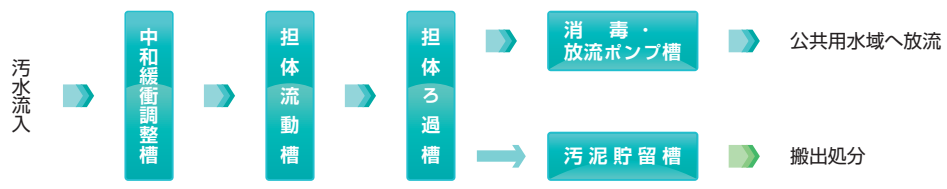
担体流動方式の採用で、微生物を担体に付着･増殖させることにより生物量を保持します。
微生物の代謝能力により有機物の分解を行います。
処理水と汚泥の固液分離は担体ろ過によって行われ、維持管理が更に容易になりました。
BOD20mg ／ ℓ 以下、pH5.8 ～ 8.6 の処理水質でそのまま、公共用水域へ放流できます。

- 生物処理の前段に組み込んだ中和緩衝調整槽で、薬剤の影響を減衰させます。
- 危険な薬品を使用しないため、管理も容易で維持管理コストの低減をもたらします。



※イラストは FJR-X 型のイメージです

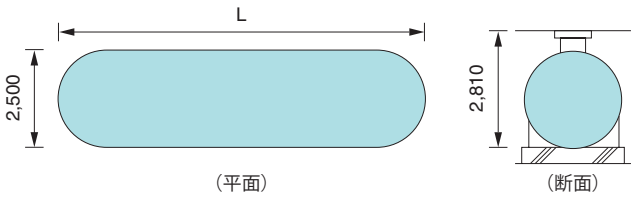
フローシート



■ 寸法表

型式	寸法(mm)		
	L1	L2	L3
FJR-Ⅰ(Ⅱ)-10X	8,030 (7,930)	-	-
FJR-Ⅰ(Ⅱ)-20X	11,330 (11,230)	-	-
FJR-Ⅰ(Ⅱ)-30X	8,500 (8,500)	6,130 (6,030)	-
FJR-Ⅰ(Ⅱ)-40X	11,000 (11,000)	7,630 (7,530)	-
FJR-Ⅰ(Ⅱ)-50X	6,000 (6,000)	8,000 (8,000)	8,130 (8,030)

W 幅 2,000mm の Ⅲ型もご用意しています。
50 床を越える施設については、お問い合わせください。
2 回転／日・床の場合



人工透析廃水

フジクリーン 高度処理ユニット

処理能力：10〜50床

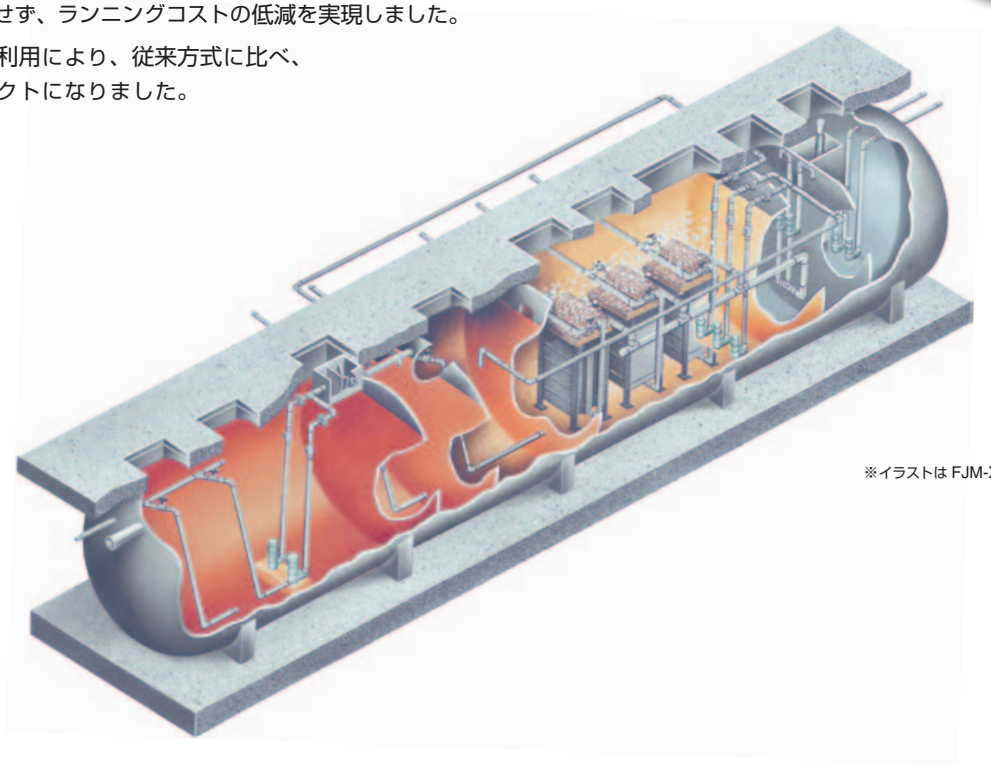
放流水質

BOD	10mg／ℓ以下
SS	10mg／ℓ以下
T-N	10mg／ℓ以下
T-P	1mg／ℓ以下
pH	5.8〜8.6

中和緩衝＋膜分離活性汚泥方式

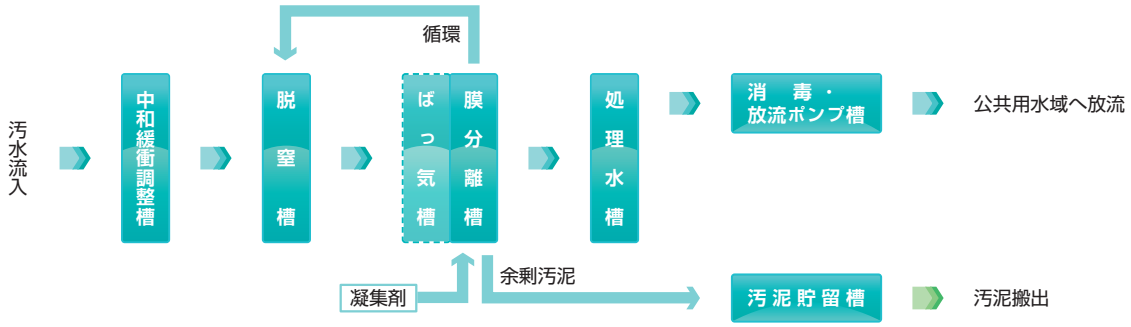
FJM-X型

- 中和緩衝槽の採用と膜処理方式の採用で、高負荷汚濁にも対応し、常時安定した処理水質を確保します。
- 中和剤を使用せず、ランニングコストの低減を実現しました。
- 膜処理方式の利用により、従来方式に比べ、大幅にコンパクトになりました。



※イラストは FJM-X 型のイメージです

フローシート

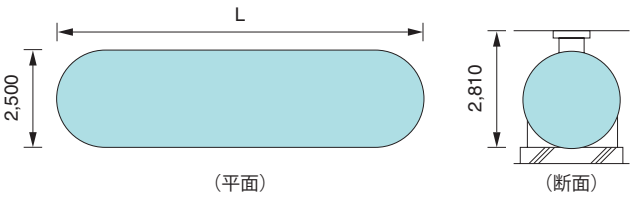


※ 10 床以下は、ばっ気槽がありません。

寸法表

ベット数（床）	型式	寸法(mm)	
		L1	L2
10	FJM-Ⅰ(Ⅱ)-10X	7,770	-
20	FJM-Ⅰ(Ⅱ)-20X	8,770	-
30	FJM-Ⅰ(Ⅱ)-30X	11,070	-
40	FJM-Ⅰ(Ⅱ)-40X	5,100	8,570
50	FJM-Ⅰ(Ⅱ)-50X	6,000	9,930

Ⅰ型とⅡ型は同サイズです。
50 床を越える施設については、お問い合わせください。
2 回転／日・床の場合



フジクリーン
厨房除害ユニット

処理能力：10～50m³／日

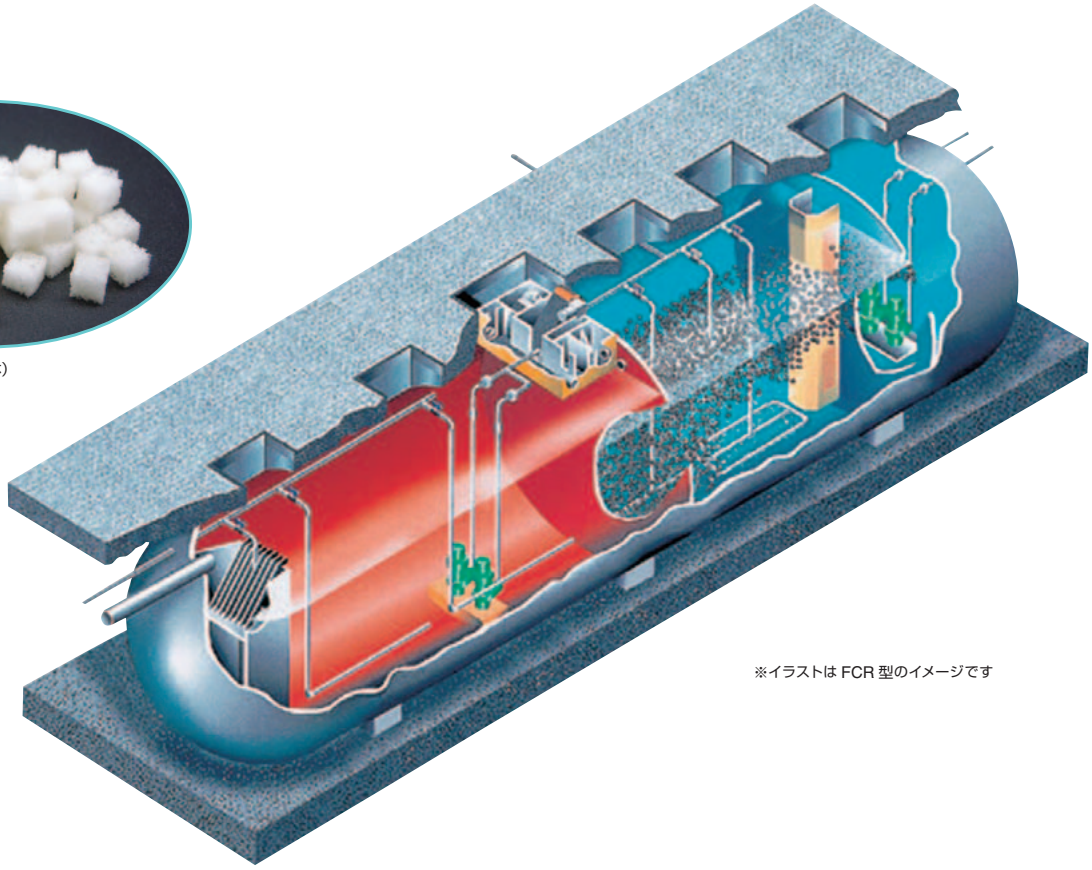
放流水質
BOD 600mg／ℓ未満
SS 600mg／ℓ未満
n-Hex 30mg／ℓ以下
pH 5を超え9未満
※ BOD、SS とも 300mg／ℓ未満の放流水質にも対応可能です。
※ n-Hex：動植物油脂類含有量

担体流動方式
FCR型

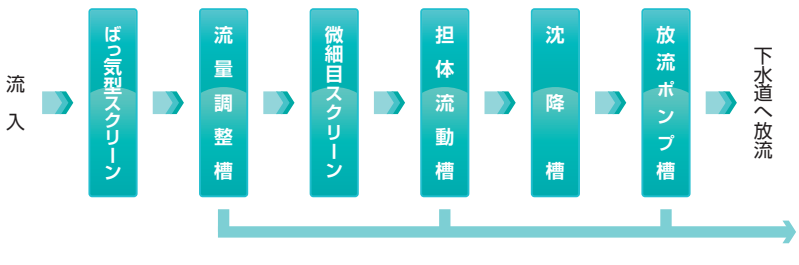
担体流動により、高効率処理を行います。

- 「生物処理」により、効率よく下水道廃水基準値をクリアします。
- 余剰汚泥の処分費用が大幅に削減可能です。
- 水処理薬品を用いませんので、運転管理費が低廉です。

（担体）


※イラストは FCR 型のイメージです

フローシート



脱臭機
特別付属品として小型カートリッジ方式を採用、省スペースで高効率脱臭が可能です。活性炭の交換が清潔で簡単に行えます。

※1　流入水質によっては、油水分離槽を設置する必要があります。
※2　流入水質によっては、汚泥貯留槽を設置する必要があります。

フジクリーン

学校給食センター専用除害ユニット

担体流動方式

FKR型

処理能力：15～150m³／日

放流水質
BOD 600mg／ℓ未満
SS 600mg／ℓ未満
n-Hex 30mg／ℓ以下
pH 5を超え9未満

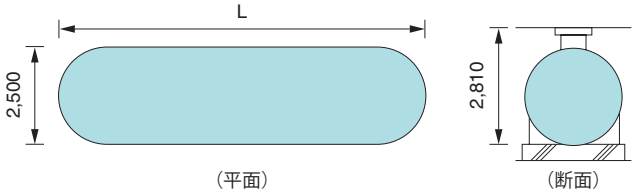
学校給食センター専用の長期休暇モードを標準装備

- 夏休み、ゴールデンウィーク等の施設休業時には流入の有無を自動で検知し、省エネモードに切り替わります。本システムにより、従来品と比べ年額で平均45%以上の電力消費量の削減となります(当社従来比)。
- 専用の早期立上げシステムにて、長期休暇後の処理性能の悪化を抑制します。
- 余剰汚泥の清掃の必要が無く、水処理薬品を用いませんので運転管理費が低廉です。

■ 寸 法 表

汚水量（m³／日）	型 式	寸 法(mm)			
		L1	L2	L3	L4
15	FKR Ⅰ(Ⅱ)-15	6,850 (6,750)	-	-	-
30	FKR Ⅰ(Ⅱ)-30	10,650 (10,550)	-	-	-
50	FKR Ⅰ(Ⅱ)-50	11,000 (11,000)	6,550 (6,450)	-	-
70	FKR Ⅰ(Ⅱ)-70	11,950 (11,950)	11,950 (11,850)	-	-
90	FKR Ⅰ(Ⅱ)-90	10,000 (10,000)	9,000 (9,000)	9,850 (9,750)	-
110	FKR Ⅰ(Ⅱ)-110	8,000 (8,000)	8,000 (8,000)	10,150 (10,050)	10,150 (10,050)
130	FKR Ⅰ(Ⅱ)-130	10,000 (10,000)	10,000 (10,000)	10,750 (10,650)	10,750 (10,650)
150	FKR Ⅰ(Ⅱ)-150	11,950 (11,950)	11,950 (11,950)	11,950 (11,850)	11,950 (11,850)

厨芥処理の方式により寸法が変る場合があります。
150㎥／日を超える施設については、お問い合わせください。



フジクリーン
洗卵廃水処理ユニット

処理能力：3〜12万卵／時

放流水質
スタンダードタイプ
BOD 120mg／ℓ以下
アドバンスドタイプ
BOD 20mg／ℓ以下

スタンダードタイプ

- FGiRS型 30T〜120T
- FGoRS型 30T〜120T

アドバンスドタイプ

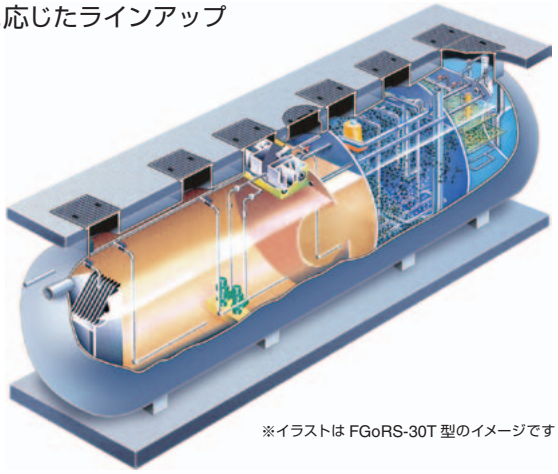
- FGiRA型 30T〜120T
- FGoRA型 30T〜120T

インライン方式・オフライン方式　いずれにも対応します。

フジクリーン洗卵廃水処理ユニットは、GP センターのオートローダー、洗卵機、泡洗浄器、トレー洗濯の廃水を処理します。
また、洗卵機械の処理能力（万卵／時）と洗浄時間により廃水量が設定され、稼働時間中はほぼ一定量の廃水で、ピーク時の変動が少ないことが挙げられます。GP センターからの廃水濃度は、家庭からの廃水濃度の 2〜5 倍にもなり、GP センターの周辺環境に大きな影響を与えます。フジクリーン洗卵廃水処理ユニットは、GP センターの集荷方式（インライン・オフライン）、目標処理水質（スタンダード・アドバンスド）に応じたラインアップを用意し、水環境の保全に貢献します。

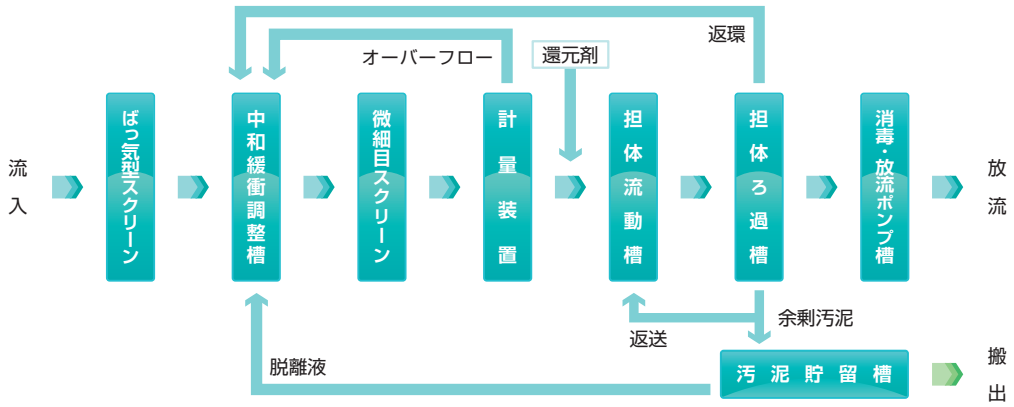
インライン方式：鶏舎に併設して、洗卵・パッキング施設を設けており、卵は鶏舎からコンベアによって、直接 GP センターへ運ばれる方式です。鶏糞や羽などの混入があり、廃水濃度は比較的高めになります。

オフライン方式：鶏舎とは別の場所に、洗卵・パッキング施設を設けており、農場で一次洗浄を行った後、トラックなどの輸送手段で GP センターへ搬入される方式です。インライン方式に比べて廃水濃度は低くなります。



※イラストは FGoRS-30T 型のイメージです

フローシート



※廃水部スクリーン設備は、洗卵機の廃水部にカゴを設け夾雑物を除去してください。
※還元剤は安全装置として設けておくため、実際には使用しない場合があります。（タンクの撹拌機は設置しません）

フジクリーン

搾乳廃水処理ユニット

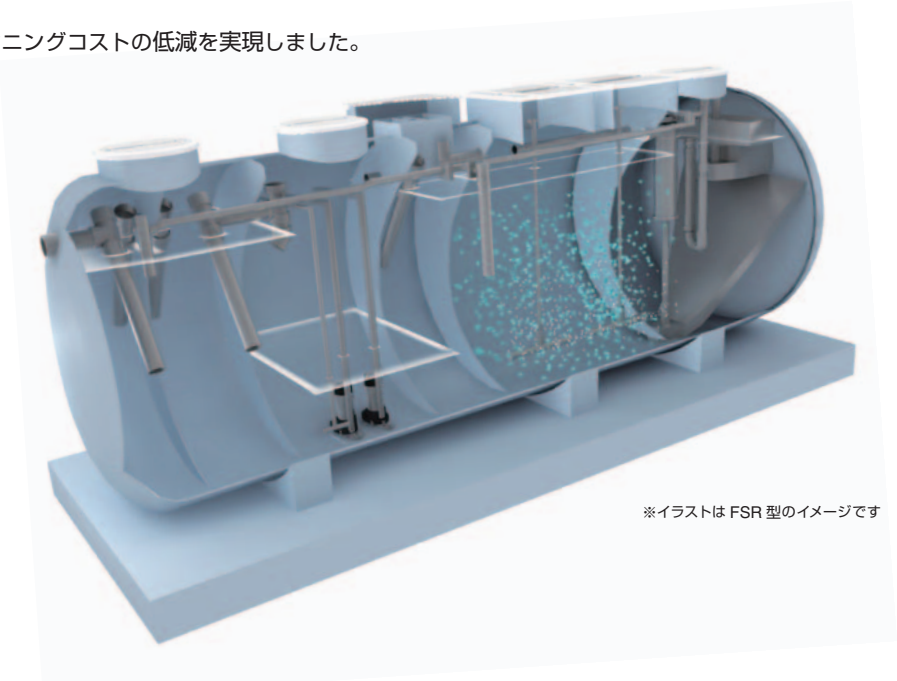
処理能力：3m³／日

放流水質
BOD 120mg／ℓ以下
pH 5.8～8.6

担体流動方式

FSR型

- パーラーから出る廃水を担体流動方式により効率的に処理し、放流可能な水質とします。
- 流量調整槽の前置によりピーク廃水を緩衝し、安定的な処理を実現しました。
- 中和剤を使用せず、ランニングコストの低減を実現しました。



※イラストはFSR型のイメージです

フローシート

※パーラー床廃水又は、分離乳の流入がある場合は別途設計が必要となります。

基本スペック（参考）

処理水量	3m³／日
放流水質	120mg／ℓ（日間平均）
全　幅	2,012mm
全　長	5,200mm
全　高	2,270mm

その他の産業廃水

食品製造廃水	惣菜、パン・菓子、米飯、漬物、味噌、食肉・水産・乳製品・農産物加工
病院・研究所廃水	検査廃水、実験廃水
動物飼育廃水	実験動物廃水、動物飼育廃水、愛がん動物飼育、実験用小動物飼育
洗浄・その他廃水	洗米廃水、洗車廃水、飲料容器洗浄廃水、リネン廃水

ご使用に際しては次のようなご注意をお願いします

⚠警　告

■ 消毒剤による発火・爆発・有害ガス事故防止

- 消毒剤は強力な酸化剤です。消毒剤の取扱説明書に従ってください。
- 消毒剤には、塩素系の無機・有機の２種類があります。これらを一緒に薬剤受け（筒）に入れないでください。

これらの注意を怠ると、発火・爆発・有害ガスの生ずるおそれがあります。

■ 感電・発火事故防止

- ブロワのカバー・動力操作盤の扉は、開けないでください。
- ブロワ・動力操作盤の近く（約 50cm）には、ものを置かないでください。
- 電源コードの上には、ものを置かないでください。
- 電源プラグは、ほこりが付着していないか、１年に１回以上は確認してください。
- ブロワ･動力操作盤などの電気系統が故障した場合は、維持管理会社または専門の施工会社に連絡してください。

これらの注意を怠ると、感電・発火の生ずるおそれがあります。

⚠注　意

■ 荷重による器物破損・障害事故防止

- 通常の埋設工事を行った浄化槽の上には、車などの重量物をのせないでください。
- 車などがのる場合には、特殊工事が必要になりますので、専門の施工会社にご相談ください。

これらの注意を怠ると、器物破損・傷害の生ずるおそれがあります。

■ マンホール・点検口等からの転落・障害事故防止

- マンホール・点検口等の蓋は、必ず閉めてください。また、ロック機構のあるものは必ずロックしてください。
- マンホール・点検口等の蓋のひび割れ・破損などの異常を発見したら、直ちに取り替えてください。
- マンホール・点検口等の蓋は、子供にさわらせないでください。

これらの注意を怠ると、転落・障害の生ずるおそれがあります。

■ 紙おむつや衛生用品の流入による、浄化槽のつまり防止

- 紙おむつや衛生用品、油脂類等は水に溶けません。また、殺虫剤、洗剤、防臭剤などを多量に流すと微生物の死滅のおそれがあります。浄化槽の正常な機能を妨げるものは、できるだけ混入させないでください。

これらの注意を怠ると、流入配管や浄化槽閉塞の生ずるおそれがあります。

■ 浄化槽の上部荷重による浄化槽の機能支障防止

- 浄化槽の上部または周辺には保守点検または清掃に支障を及ぼすおそれのある構造物を設けないでください。

これらの注意を怠ると、器物破損・傷害の生ずるおそれがあります。また定期点検の妨げにもなります。

⚠**警　告**：取扱を誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。
⚠**注　意**：取扱を誤った場合に、使用者が傷害を負う危険および物的損害の発生が想定されます。

美しい水を守る
フジクリーン工業株式会社　ホームページをご覧ください http://www.fujiclean.co.jp/

本　　社　〒464-8613　名古屋市千種区今池四丁目１番４号　海外事業部（052）733-0863

札幌支店	(011)882-1222	埼玉営業所	(048)620-1424	広島営業所	(082)843-3315	フジクリーン浄化槽のご用命は…	
東北支店	(022)212-3339	千葉営業所	(043)206-5171	高松営業所	(087)815-0682		
東京支店	(03)3288-4511	新潟営業所	(025)271-8668	松山営業所	(089)967-6123		
名古屋支店	(052)733-0250	山梨営業所	(055)275-9300	高知営業所	(088)837-8021		
大阪支店	(06)6396-6166	松本営業所	(0263)27-2080	佐賀営業所	(0952)31-9151		
福岡支店	(092)441-0222	岐阜営業所	(058)274-1011	熊本営業所	(096)388-3571		
盛岡営業所	(019)604-2527	沼津営業所	(055)924-0064	大分営業所	(097)558-5135		
郡山営業所	(024)944-7780	静岡営業所	(054)286-4145	宮崎営業所	(0985)32-3064		
茨城営業所	(029)839-2271	四日市営業所	(059)350-0788	鹿児島営業所	(099)257-3501		
宇都宮営業所	(028)625-4650	阪奈営業所	(072)341-8401	鹿屋営業所	(0994)43-4437		
群馬営業所	(027)327-5611	和歌山営業所	(073)422-3634				

※支店・営業所・電話番号は変更する場合がございますのでご了承ください(2014年4月現在)

●ご使用される方には必ず取扱説明書をお渡しください。
●その他詳しいことは要領書に記載してありますのでご覧ください。
●施工･維持管理は必ず有資格者において要領書の通り行ってください。
●本仕様は改良のため予告なく変更することがあります。
●マンホールは積載荷重に適合したものを設置してください。

未　A-05-14.4